

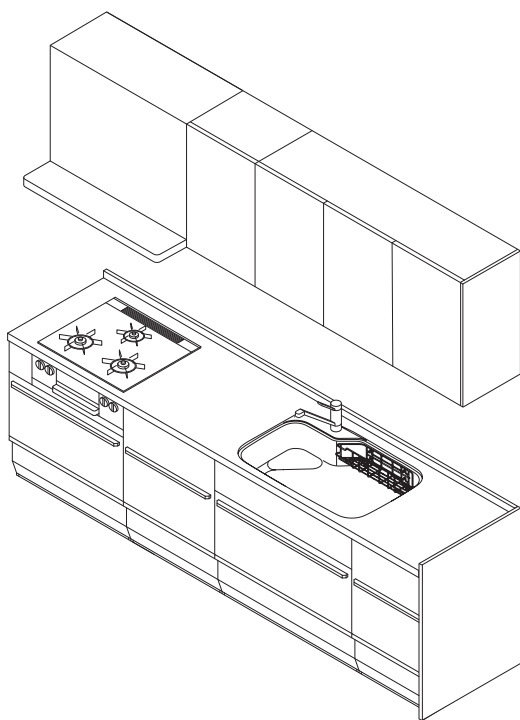


キッチンから、笑顔をつくろう

システムキッチン 取扱説明書 保証書付



Stainless System Kitchen



このたびは、クリナップ商品をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この取扱説明書は、商品を安全に長い間ご使用いただくために、注意事項やお手入れ方法についてまとめたものです。

ご使用前に必ずお読みいただき、以後も手近に保管し、ご活用ください。

もくじ	3
ご利用の前に	4
安全上の注意	8
キッチン全体の使い方	18
調理アイテムの使い方	20
収納アイテムの使い方	
- キャビネット -	32
- 吊戸棚 -	55
- キッチン周辺収納 -	59
対面型キッチン・その他部材	67
こんなときは	70
保証書	71

S.S. の特徴

S.S. は、調理機能、収納機能、デザインなど、さまざまな魅力を備えたシステムキッチンです。「食」をもっと大切にしたいという想いのもと、究極の道具としてカタチにしたキッチンには、様々な特徴があります。

清潔で丈夫な 18-8 ステンレスキャビネット

ステンレスはさびにくく、カビが付きにくい衛生的な素材です。また、熱や衝撃にも強いので、水や火を使うキッチンのキャビネットには最適です。

参照 3.1. キッチン全体の使い方 P.18

傷がつきにくいエンボス加工の美コートワークトップ、ステンレスシンク

美コートワークトップ、ステンレスシンクには傷がつきにくく、目立ちにくいエンボス加工を施しています。

参照 4.1. ワークトップ・シンク P.20

美コートワークトップ、ステンレスシンクはセラミック系特殊コーティング

美コートワークトップ、ステンレスシンクはしつこい汚れも簡単に落とせる、特殊コーティングを施しています。

参照 4.1. ワークトップ・シンク P.20

足元のスペースを有効に使える“フロアコンテナ”

クリナップが開発した、自慢の足元収納スペースです。置き場所に困りがちなストック品や、季節使いの調理器具をまとめてしまっておけます。

● 本書について

- キッチンには様々な形状のものがあるため、お客様がご利用の商品と異なる場合があります。
- 本書では、使用上支障のない範囲で略図を使用しています。
- シンクやキャビネットなどのアイテムごとに構成しています。各アイテムに関するページには、「使用上の注意」「お手入れのしかた」などの情報を記載しています。
- 「Q&A」にはお客様からよくあるお問い合わせをまとめています。疑問点、不明点がある場合にご覧ください。



1. ご利用の前に	4
1.1. 各アイテムのなまえ	4
1.2. お手入れスケジュール	6
1.3. 定期的な点検	7
2. 安全上の注意	8
2.1. 安全上の注意	8
2.2. 重量に関する規定	16
3. キッチン全体の使い方	18
3.1. キッチン全体の使い方	18
4. 調理アイテムの使い方	20
4.1. ワークトップ・シンク	20
4.2. 排水口まわり	28
4.3. シンク用アクセサリパーツ	30
5. 収納アイテムの使い方 - キャビネット	32
5.1. キャビネットの収納例	32
5.2. ツールボックス	34
5.3. シンク下ワイヤーラック	34
5.4. レードルホルダー	35
5.5. 包丁差し	36
5.6. コンロキャビネット調味料収納	38
5.7. スライドボックス付キャビネット	40
5.8. ワゴン付コーナーキャビネット	41
5.9. ボトル対応スライドキャビネット	42
5.10. ライザー付スライドキャビネット	43
5.11. 昇降式道具収納ワゴン付キャビネット	44
5.12. 開き扉・引出し前板・棚板	45
5.13. キャビネット用オプションパーツ	51
6. 収納アイテムの使い方 - 吊戸棚	55
6.1. 使用上の注意、お手入れのしかた	55
6.2. ムーブダウン吊戸棚	56
6.3. プルダウン吊戸棚	57
7. 収納アイテムの使い方 - キッチン周辺収納	59
7.1. システムエリア収納	59
7.2. リサイクルカート、リサイクルゴミワゴン	60
7.3. ステップコンテナ	61
7.4. 片面ハイフロア下台・中台・上台	63
7.5. フラット引戸収納	65
7.6. その他収納	66
8. 対面型キッチン・その他部材	67
8.1. フロントスクリーン	67
8.2. 照明器具	68
8.3. 壁パネル・アシストラック	69
9. こんなときは	70
9.1. Q&A	70
保証書	71

1. ご利用の前に

1.1. 各アイテムのなまえ

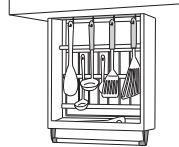
1

ご利用の前に

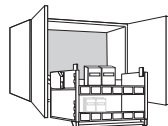
各アイテムの名称と参照先は、下図のとおりです。

収納アイテム

吊戸棚



プルダウン
吊戸棚



ムーブダウン
吊戸棚

参照

- ・安全上の注意：吊戸棚 P.12
- ・重量に関する規定：プルダウン吊戸棚、ムーブダウン吊戸棚 P.16
- ・使い方：収納アイテムの使い方ー吊戸棚 P.55 ～ P.58

キャビネット

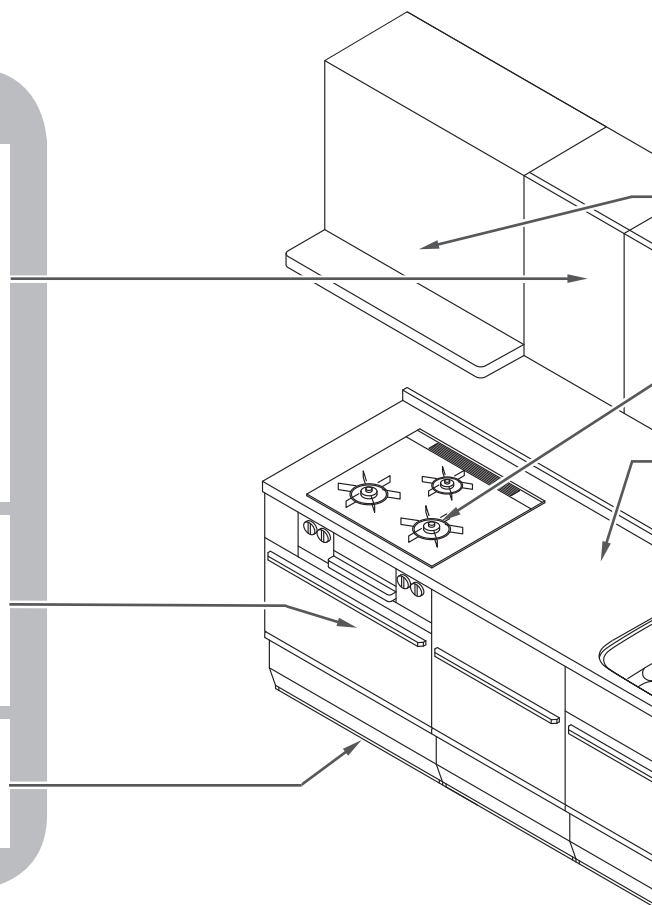
参照

- ・安全上の注意：キャビネット P.10 ～ P.11
- ・重量に関する規定：キャビネット P.16
- ・使い方：キャビネット P.34 ～ P.35
- ・収納例：キャビネットの収納例 P.32 ～ P.33

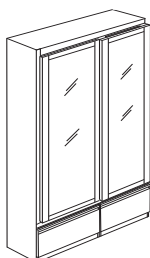
フロアコンテナ

参照

- ・安全上の注意：フロアコンテナ P.11
- ・収納例：キャビネットの収納例 P.32 ～ P.33



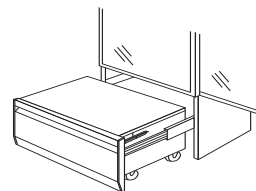
キッチン周辺収納



システムエリア収納



リサイクルカート、
リサイクルゴミワゴン



ステップコンテナ

参照

- ・使い方：システムエリア収納 P.59

参照

- ・安全上の注意：リサイクルカート、リサイクルゴミワゴン P.14
- ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.17
- ・使い方：リサイクルカート、リサイクルゴミワゴン P.60 ～ 61

参照

- ・安全上の注意：ステップコンテナ P.12 ～ P.13
- ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.17
- ・使い方：ステップコンテナ P.61 ～ 62

調理アイテム

レンジフード

参照

・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

調理機器

参照

・安全上の注意：調理機器・組込機器類 P.9
 ・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください

ワークトップ

参照

・使い方：ワークトップ・シンク P.20～P.27

水栓

参照

・安全上の注意：水栓 P.10
 ・使い方：別冊の専用取扱説明書をご覧ください

シンク

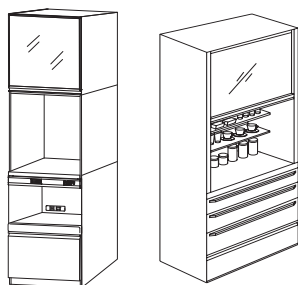
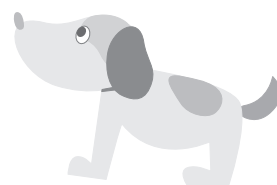
参照

・安全上の注意：シンク P.9
 ・使い方：ワークトップ・シンク P.20～P.27

排水口

参照

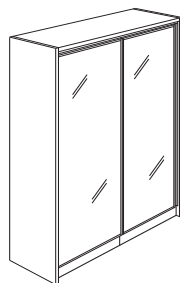
・使い方：排水口 P.28～P.29



片面ハイフロア下台・中台・上台

参照

・安全上の注意：P.13
 ・重量に関する規定：キッチン周辺収納 P.17
 ・使い方：片面ハイフロア下台・中台・上台 P.63～P.64



フラット引戸収納

参照

・安全上の注意：P.14
 ・使い方：フラット引戸収納 P.65～P.66

1. ご利用の前に

1.2. お手入れスケジュール

● お手入れスケジュールのすすめ

- ・毎日使うキッチンには、こまめなお手入れが欠かせません。次のスケジュールを参考に、お客様の生活に合わせたお手入れ計画を立ててください。
- ・調理機器、レンジフード、水栓、浄水器などの関連機器商品について詳しい内容は、別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

年間お手入れスケジュール例

期 間	お手入れ内容
毎日	・ワークトップ：水滴などの軽い汚れを拭き取る。 ・シンク：スポンジに中性洗剤をつけて洗う。 ・排水口：浅型カゴにたまったゴミを捨てる。 ・引出し前板・開き扉：水滴や油汚れを拭き取る。 ・調理機器のトッププレート：煮こぼれや水滴などの軽い汚れを拭き取る。 ・調理機器のグリル：使用後、油汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。 ・レンジフード：手の届く範囲の汚れを拭き取る。
週一度 または 汚れてきたら	・ワークトップ・シンク：メラミンフォームやスポンジに中性洗剤をつけて洗う。 ・水栓：水滴などの軽い汚れを拭き取る。 ・ガスコンロの五徳：こびりつき汚れを洗う。 ・引出し前板・開き扉・取っ手：汚れを中性洗剤で拭き取った後、乾拭き。 ・壁パネル：油はねなどの汚れを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。
月一度	・排水口：防臭パイプを取り出して、中までしっかり洗う。 ・排水口：洗い桶 1 ～ 2 杯（5 ～ 10 L）の水を勢いよく流す。 ・レンジフード：フィルターなどを中性洗剤をつけたスポンジで洗う。
半年～年一度	・レンジフード：ファンを取り外して洗う。 ファンを取り外さないものもあるので、詳しい内容は専用取扱説明書をご覧ください。 ・浄水器：カートリッジ交換を忘れずに行う。 交換時期については専用取扱説明書をご覧ください。

MEMO 洗剤の使い方によっては手荒れの原因になります。ゴム手袋をはめるなど、気をつけてご利用ください。

気づいたらすぐに

次のような場合、気づいたときにすぐに対処するようにしてください。

- ・ワークトップやシンクの水あかの付着やもらいサビがあった場合、すぐに対処してください。

参 照 ワークトップ、シンク P.25、Q&A P.70

- ・ガスコンロのバーナーキャップに目詰まりがある場合、すぐに対処してください。
- ・水の出が悪くなった場合、水栓のストレーナー（ろ過用の金具）をチェックしてください。

参 照 ガスコンロ、水栓について詳しい内容は別冊の専用取扱説明書をご覧ください。

- ・汚れを見つけたら、すぐに拭き取ってください。そのまま放置すると、汚れが取れにくくなります。
- ・床にこぼれた水はこまめに拭くようにしてください。

1. ご利用の前に

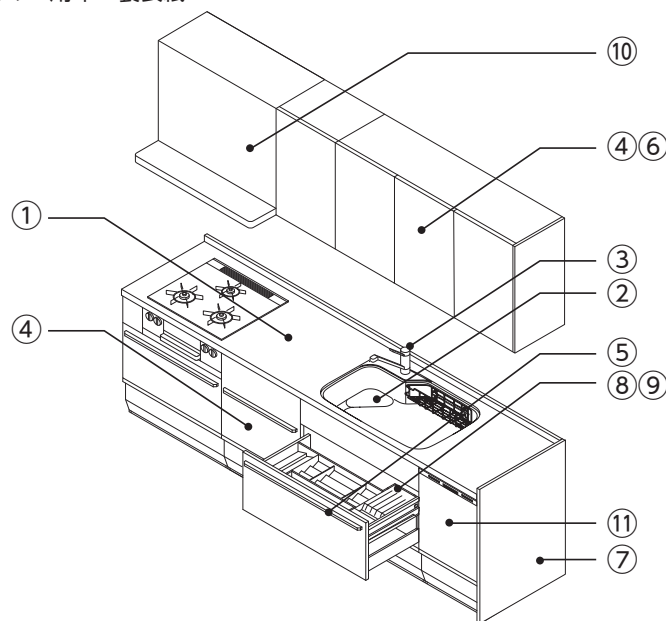
1.3. 定期的な点検

定期的な点検のすすめ

商品は長期間ご利用いただくことで、経年劣化してきます。安全にお使いいただくために、定期的に水漏れ点検と安全点検を行ってください。水漏れ点検は月一度、安全点検は年一度が目安です。

水漏れがあった場合、元栓や止水栓を締めてから、速やかにクリナップカスタマーセンターへご連絡ください。また、使用時に、部品が破損・脱落したり、ゆるんだりしている場合は、速やかにクリナップカスタマーセンターに修理を依頼してください。そのまま放置していると思わぬ事故の恐れがあります。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙



点検箇所	症状	点検の種類	想定される被害	点検方法
①ワークトップ・シンク	穴開きやひび割れ	水漏れ点検	水漏れによる家財等の破損、破損部接触によるケガ	ワークトップ、シンクに穴開きやひび割れがないか確認してください。
②排水器具	排水接続部のゆるみ、破損	水漏れ点検	水漏れによる家財等の破損	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。
③水栓金具	本体やレバーのガタつき	水漏れ点検	水漏れによる家財等の破損	水栓金具を操作して、本体やレバーにガタつきがないか確認してください。
	温度調節ができない	安全点検	熱湯によるやけど	レバーを操作して温度調節が適正にできるか確認してください。
	めっき部のはがれ	安全点検	はがれためっき部によるケガ	水栓金具本体やシャワーヘッド、レバーなどのめっき部にはがれがないか確認してください。
	キャビネット内の配管、接続部、シャワーホースの水漏れ	水漏れ点検	水漏れによる家財等の破損	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。
④扉	変形やガタつき、異音	安全点検	落下によるケガおよび家財等の破損	扉を開閉して、変形やガタつき、異音がないか確認してください。
	ひび割れや表面のはがれ	安全点検	破損部接触によるケガ	扉の表裏面にひび割れやはがれがないか確認してください。
⑤取っ手	めっき部のはがれ	安全点検	はがれためっき部によるケガ	取っ手のめっき部にはがれがないか確認してください。
⑥吊戸棚	本体の変形、ガタつき	安全点検	落下によるケガおよび家財等の破損	吊戸棚が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。
	棚板の変形、ガタつき	安全点検	落下によるケガおよび家財等の破損	棚板が正常に取り付けられているか、ガタつきがないか確認してください。
⑦キャビネット	キャビネット内で水が漏れている	水漏れ点検	水漏れによる家財等の破損	キャビネットの扉・引出しを開ける、または引出しを外して、水漏れがないか確認してください。
⑧引出し	変形やガタつき	安全点検	落下によるケガおよび家財等の破損	引出しに変形していないか、ガタつきがないか確認してください。
⑨包丁差し	ガタつき	安全点検	包丁差しおよび包丁自体の落下によるケガ	包丁差しにガタつきがないか確認してください。
⑩レンジフード	幕板、整流板、フィルターのガタつき	安全点検	落下によるケガおよび家財等の破損	レンジフードの幕板、整流板、フィルターなどにガタつきがないか確認してください。
⑪食器洗い乾燥機	水漏れ	水漏れ点検	水漏れによる家財等の破損	食器洗い乾燥機周りに水漏れがないか確認してください。

点検の結果、不備があった場合は、クリナップカスタマーセンターへご連絡ください。

参照 アフターサービスのご用命 裏表紙

2. 安全上の注意

2.1. 安全上の注意

- 安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡や重症を負う恐れがある内容」が記載されています。



注意

この表示の欄は、「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物理的損害が生じる恐れがある内容」が記載されています。



禁止

この行為は禁止されています。



注意

この行為は、注意が必要です。



必ず実行

この行為を必ず実行してください。



手をはさまれないよう注意

引出しや扉などで手をはさむことで、傷害が起こる可能性があります。



接触禁止

特定の条件で特定の場所に触れると、傷害が起こる可能性があります。



発火注意

特定の条件で発火の恐れがあります。



ぬれ手禁止

製品をぬれた手で扱うと感電する恐れがあります。



高温注意

特定の条件で、高温による傷害の恐れがあります。



警告



発火注意

電源コンセントの表示容量（ワット）を超える電気器具を使わない。

発熱により、火災の原因になります。



ぬれ手禁止

ぬれた手でコンセントや電気製品を触らない。コンセントや電気製品に水をかけない。

感電や故障、漏電、ショートによる火災の恐れがあります。



発火注意

調理機器の使用後および外出時には、スイッチを切る。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



発火注意

調理機器の上や周りには、燃えるものを置かない。

周囲の可燃物に着火し、火災の原因になります。



発火注意

調理機器を使っているときは、その場を離れない。

高温になりすぎて、火災の原因になります。



発火注意

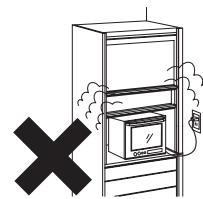
キャビネット内や家電収納庫などのスライド台に電気コンロ、ガスコンロ、ガス炊飯器などの加熱調理機器を置いて使用しない。

キャビネットが加熱し、火災の原因になります。



バーチカルスライド収納内に蒸気が発生させる電気製品を置いて使用しない。

キャビネットの変形・変色や、火災の原因になります。



キッチンに組み込まれている機器、市販の調理機器などは、商品に付属の取扱説明書および商品本体に表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になります。

注意

キッチン全体



取っ手、扉、引出し、化粧板、棚、ラック、ワゴン、テーブルなどにぶら下がったり、体重をかけたりしない。

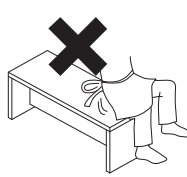
破損し、ケガをする恐れがあります。



ワゴン



リサイクルカート



テーブル



吊戸棚



キャビネット



引出しの取り外し、取り付け、調整、またはキャビネット内のお手入れをする場合は、引出しレールや部品などに十分注意して行う。

手や指などにケガをする恐れがあります。



床面に油などが飛び散ったらすぐに拭き取る。

足を滑らせ、ケガをする恐れがあります。特に、対面キッチンのコンロ側が通路になっているキッチンやダイニング側に注意してください。



ワークトップやキャビネット、扉、パネルなどに加工や改造をしない。

故障や破損の原因になります。

調理機器・組込機器類



調理中や調理直後は、調理機器周辺に手を触れない。

やけどの恐れがあります。

シンク



シンクにまな板を渡した状態で、カボチャなどの硬いものや切りにくいものを切らない。まな板をサポートプレートの上に置いてものを切らない。

まな板やサポートプレートがシンクから外れて、ケガをする恐れがあります。ワークトップ上で作業をしてください。



てんぷら油や多量の熱湯を、直接排水口に流さない。

排水器具などが変形し、水漏れの原因になります。また、排水管のつまりの原因になります。

2. 安全上の注意

2.1. 安全上の注意

⚠ 注意

水栓



必ず実行

混合水栓を使用する場合は、必ず水を先に出す。

湯を先に出すと、水栓および熱湯で、やけどをする恐れがあります。特に、小さいお子様は注意してください。

キャビネット

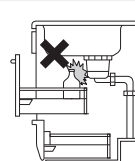
●シンクキャビネット、コンロキャビネット



必ず実行

シンク下の引出しに収納する場合は、排水器具と接触しないように、収納物の高さに注意する。

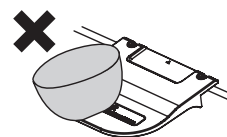
接触すると、排水器具が破損する恐れがあります。



禁止

トラップガードの位置を移動させたり、取り外したりしない。トラップガードの上に収納物を載せない。

収納物と排水器具が接触し、漏水の恐れがあります。



必ず実行

包丁差しの固定ねじがゆるんでガタつきが発生したときは、ねじを締め直す。

包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。



必ず実行

包丁差しを取り付けるときはピン、底板の突起が正しい位置にはまっていることを確認する。

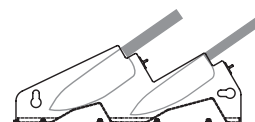
包丁差しが外れてケガをする恐れがあります。参照 5.5. 包丁差し P.34 ~ 35



必ず実行

包丁差込口に、確実に包丁を差し込む。

扉を引き出したときに包丁が外れ、ケガをする恐れがあります。特に、右図のような斜めに包丁を入れるタイプの場合は、段差に柄の部分が掛かるように収納してください。



禁止

包丁を無理に引っ張らない。

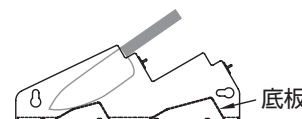
勢いよく包丁が抜け、ケガをする恐れがあります。包丁が抜けないときは一度正しい収納位置に戻し、ロックが外れていることを確認してからまっすぐに引き抜いてください。



必ず実行

S.S. ライトパッケージ用包丁差しは必ず底板を取り付けて使用する。

底板の上に刃を載せて使用してください。包丁の刃が露出し、ケガをする恐れがあります。



禁止

包丁を差したまま包丁差しや引出しのお手入れを行わない。

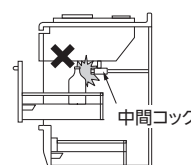
包丁の刃に触れ、ケガをする恐れがあります。お手入れは包丁を取り出してから行ってください。



必ず実行

コンロ下の引出しに収納する場合は、ガス栓（中間コック）と接触しないように、収納物の高さに注意する。

接触すると、ガス栓が閉じたり破損したりする恐れがあります。



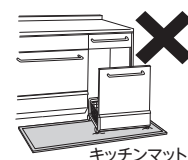
●ワゴン付コーナーキャビネット、昇降式道具収納ワゴン、ダストボックスワゴン

**ワゴンを勢いよく引き出さない。**

ワゴンが転倒してケガをする恐れがあります。特に、床下収納庫など床に段差のある部分を移動する場合は、手でしっかり支えながら移動してください。

**ワゴン周辺にキッチンマットや毛足の長いじゅうたんを敷いて使用しない。**

ワゴンに毛がからまり、転倒してケガをする恐れがあります。



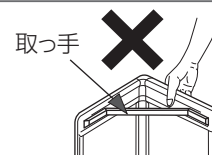
キッチンマット



手をはさまれないよう注意

ワゴンをキャビネットから出し入れする場合は、必ず取っ手部分を持つ。

扉部分などを持って出し入れすると、手や指をはさむ恐れがあります。

**ワゴンに、沸騰したやかんや鍋などを直接載せない。**

やけどやワゴンの変形、破損の原因になります。



必ず実行

ワゴンを、床下収納庫など床に段差のある部分で移動する場合は、特に、手でしっかり支えながら移動する。

転倒する恐れがあります。

**ワゴンで遊んだり、寄りかかったりしない。**

ワゴンが転倒して、ケガをする恐れがあります。



●フロアコンテナ

**フロアコンテナを引き出したまま作業しない。また、足場代わりにしない。**

足をぶつけたり、転倒によるケガや、フロアコンテナが破損する恐れがあります。



注意

フロアコンテナを引き出す場合は、足元に注意して引き出す。また、他の作業員やお子様など、周囲の人にも注意する。

足の指をはさむ恐れがあります。

**引出しを開けたまま、フロアコンテナを引き出さない。**

指をはさんだり、引出しやフロアコンテナが破損する恐れがあります。

●開き扉、引出し



必ず実行

開き扉が傾いたり、ガタついているときは、丁番のねじを締め直す。

扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。また、ねじがゆるんでいないことを定期的にご確認ください。

参照 5.12. 開き扉・引出し前板・棚板 P.45 ～ P.50**開き扉開閉時は、丁番には触れないようにする。**

丁番に指をはさむ恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。

**引出しの開閉時は、ワークトップや引出しの扉上部に手をかけない。**

ワークトップと扉の間に指をはさむ恐れがあります。

2. 安全上の注意

2.1. 安全上の注意

⚠ 注意

キャビネット

●棚板



禁止

扉を大きく開けすぎない。

丁番が破損したり、扉が外れて、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

棚受けダボは確実に奥まで差し込む。

棚板が落下して、ケガをする恐れがあります。

吊戸棚

●プルダウン吊戸棚、ムーブダウン吊戸棚共通



接触禁止

操作部以外に手をかけたり、機構部や本体のすき間に手を入れない。

手をはさむ恐れがあります。



禁止

収納物がはみ出したまま昇降させない。また、操作レバーにものを引っ掛けない。

収納物の落下によるケガや、ラック、キャビネットが破損する恐れがあります。



禁止

割れやすいもの、不安定なもの、包丁・薬品・熱せられた調理道具などの危険なものを収納しない。

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、ムーブダウン吊戸棚の場合は高さガイドバーより高いものを収納しないでください。



禁止

勢いよく昇降しない。

収納物が落下し、ケガをする恐れがあります。また、故障の原因になります。

●プルダウン吊戸棚



接触禁止

対面側をオープンにして設置したとき、サブカウンターの開閉時にアルミバーに手を掛けない。

指をはさむ恐れがあります。



●ムーブダウン吊戸棚

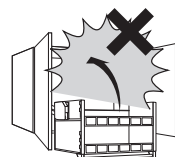


必ず実行

バネ切り替えレバーは、重量に対して適切にセットする。

収納ラックが勢いよく戻ったり、急降下して収納物が落下したり、収納ラックが変形・落下したりして、ケガをする恐れがあります。

参照 6.2. ムーブダウン吊戸棚 P.56



キッチン周辺収納

●ステップコンテナ



必ず実行

ロック音が鳴るまで完全に引き出し、押しても戻らないことを確認後、足元に注意して静かに乗り降りする。また、引き抜いて単独で使用しない。

つまずいたり、滑ったりして、ケガをする恐れがあります。



禁止

ステップコンテナを引き出したまま作業しない。

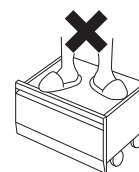
つまずいて転倒したり、足をぶついたりしてケガをする恐れがあります。使用後は、必ずキャビネットに収納してください。



禁止

スリッパや履き物を履いたまま乗らない。また、ストッキングなどの滑りやすい靴下を履いて乗るときには十分注意する。

つまずいたり、滑ったりして、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

ステップコンテナの乗り降りは足元に十分ご注意のうえ、静かに行う。また、飛んだり、跳ねたりしない。

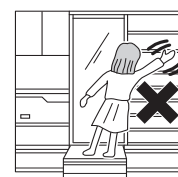
商品が破損したり、転倒したりしてケガをする恐れがあります。



必ず実行

出し入れする真下のステップコンテナを使用する。

引き出したステップコンテナから遠い位置にある収納物を出し入れすると、姿勢が不安定になり、収納物を落したり、ケガをしたりする恐れがあります。



禁止

お子様や、お体のご不自由な方は使用しない。また、お子様を遊ばせたりしない。

転倒するとケガや、思わぬ事故の原因になります。



⚠ 注意

キッチン周辺収納

●家電収納庫



禁止

スライド台には熱い鍋や重いもの、包丁などを乗せない。

鍋や包丁などが落下して、ケガややけどをする恐れがあります。

●フラット引戸収納



禁止

フラット引戸収納は、扉の周りに人がいないことを確認し、取っ手を持ってゆっくりと開閉する。また、機構部を手や足で触らない。

扉と扉の間に手をはさんだり、機構部で手や足をはさんでケガをする恐れがあります。



禁止

ガラスに強い衝撃を与えない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。

傷がつくとガラスが割れてケガをする恐れがあります。特に木口部への衝撃にはご注意ください。また、ガラスにできた傷が成長し破損することがあります。

●リサイクルカート、リサイクルゴミワゴン



必ず実行

ゴミ箱のフタ、およびリサイクルカートのフタが閉まっていることを確認してから、キャビネットに収納する。

フタが開いている状態で収納すると、キャビネットやフタが破損する恐れがあります。



必ず実行

リサイクルカートのフタは、取っ手を持ってゆっくりと開閉する。

フタの端やアームを持って開閉したり、アームに触りながら開閉すると、フタと本体の間に手をはさんだり、アームに手をはさんでケガをする恐れがあります。



禁止

リサイクルカートのフタに座らない。

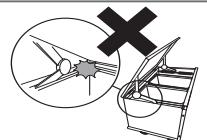
商品が破損する恐れがあります。



禁止

リサイクルカートのアームがゴミ箱に引っ掛かった状態で、無理にフタを閉めない。

アームまたはゴミ箱が破損する恐れがあります。



対面型キッチン



接触禁止

調理中や調理直後はフロントスクリーンや防熱板に手を触れない。

調理機器からの熱などで熱くなり、やけどの恐れがあります。



禁止

フロントスクリーンのガラスフレームに寄りかかったり、強い衝撃を与えない。

ガラスが割れてケガをする恐れがあります。また、フレームが変形する恐れがあります。



禁止

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、鍋やフライパンなどの柄に手を引っ掛けないようにする。

鍋やフライパンなどが落下して、ケガややけどをする恐れがあります。



必ず実行

コンロ側が通路になっているレイアウトのキッチンは、ワークトップから床面に油などの飛び散りが想定される。床面に油などが飛び散ったら、すぐ拭き取る。

足を滑らせて、転んでケガをする恐れがあります。

その他部材

●コンセント



必ず実行

時々電源プラグを抜いて拭き取り、ほこりがたまらないようにする。
ほこりがたまると発火の恐れがあります。特に湿気の多い場所のコンセントに注意してください。

洗剤



必ず実行

台所で使われる洗剤・殺虫剤・防腐剤・その他薬品類は、それぞれの容器などに表示されている事項を守る。

使い方を誤ると、人体に悪影響を及ぼしたり、キッチン本体や機器類が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。



禁止

台所には、固形または粉末の塩素系洗剤（ヌメリ取り剤など）を使用したり、近づけたりしない。

水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレスなどの金属やゴムの腐食・劣化およびサビを発生させ、水漏れにつながる恐れがあります。



禁止

台所では成分表示のない洗剤類、台所以外の用途である洗剤類は使用しない。

キッチン本体が傷み、水漏れ事故や故障の原因になります。

2. 安全上の注意

2.2. 重量に関する規定



収納アイテム



禁止

収納アイテムに、収納物をつめ込みすぎない。

引出しや棚板の変形の原因になります。

●キャビネット、棚板



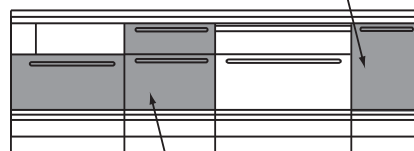
必ず実行

キッチンの引出し、吊戸棚や各キャビネットへの収納は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

重量が限度を上回ったりかたよったりすると、棚板や引出しの破損につながったり、載せているものが落ち、ケガをする恐れがあります。

部位	耐荷重
棚板一枚	20 kg
黒塗部引出し 1 段	40 kg
黒塗部引出し 1 段 (配管スペースあり)	20 kg
黒塗部以外の引出し 1 段	20 kg
間口 15cmのスライドキャビネット	10 kg
ボトル用スライドキャビネット	20 kg
スライドボックス	10 kg
シンクキャビネット ツールボックス	5 kg

配管スペース有キャビネットの場合は、間口45cm以上のベースキャビネットになります。



配管スペース有キャビネットの場合は、間口60cm以上の引出しキャビネットになります。

MEMO 20 kg = 直径 26 cm の大皿 25 枚以内が目安です。

●プルダウン吊戸棚・ムーブダウン吊戸棚

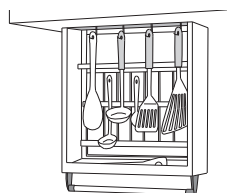


必ず実行

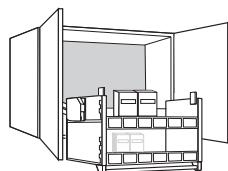
昇降ラック付吊戸棚の収納量は、下表の耐荷重以下とする。

限度以上の収納をすると、変形や落下の原因となり、ケガをする恐れがあります。

吊戸棚	部位		間口	耐荷重
プルダウン吊戸棚	調味料&サブカウンタータイプ	調味料部	90 cm、75 cm	3 kg
		サブカウンター部	90 cm、75 cm	10 kg
	レードルラック&ふきんタイプ	90 cm	1.7 kg	
		75 cm	1.5 kg	
	レードルフックタイプ	45 cm	1 kg	
	調味料棚タイプ	45 cm	2 kg	
		30 cm	1.5 kg	
ムーブダウン吊戸棚			90 cm、75 cm、60 cm	15 kg



プルダウン吊戸棚



ムーブダウン吊戸棚

●ワゴン付コーナーキャビネット、昇降式道具収納ワゴン



必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下として、収納物を均等に載せる。

特に、ワゴンの場合、下記の限度以上収納したり、上段に重いものを載せてかたよったりすると、転倒する恐れがあります。

部位		耐荷重
コーナーワゴン	上段、下段それぞれ	10 kg
	中段の網棚	5 kg
デルタトレイ	上段、下段それぞれ	10 kg
昇降式道具収納ワゴン	上段、中段、下段それぞれ	10 kg



コーナーワゴン



デルタトレイ

キッチン周辺収納

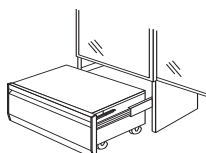


必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下とする。

限度以上の収納をすると、変形・落下・破損や、ケガの原因になります。

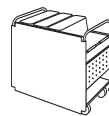
部位		耐荷重
ステップコンテナ	ステップ部	100 kg
	収納部	20 kg
家電収納庫	スライド台	15 kg
リサイクルゴミワゴン リサイクルカート	全体	20 kg
	ポリ袋ストッパー	5 kg
	ダストボックス	5 kg
	リサイクルカートフタ	15 kg



ステップコンテナ



家電収納庫

リサイクルゴミワゴン、
リサイクルカート

対面型キッチン、その他部材



必ず実行

収納量は、下表の耐荷重以下とする。

限度以上の収納をすると、変形する恐れがあります。

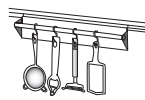
部位		耐荷重
アシストラック	調味料ラック	3 kg
	ふきんラック、まな板ラック	2 kg
	ハンギングラック	4 kg
	ペーパーラック	2 kg



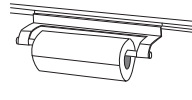
調味料ラック



ふきんラック



ハンギングラック



ペーパーラック

3. キッチン全体の使い方

3.1. キッチン全体の使い方

● 使用上の注意

● ステンレス部品（ステンレスワークトップ、ステンレス扉、引出し底板等）



禁止

ぬれた包丁・塩・醤油、または鉄製のタワシやステンレス以外の金属（缶詰など）を放置しない。

もらいサビを引き起こし、腐食して穴が開く恐れがあります。



禁止

ステンレス部品には、塩素系の洗剤は使用しない。

サビの原因になります。

● 樹脂部品（人工大理石ワークトップ、プラスチック製品等）



禁止

樹脂部品に洗浄力の強い洗剤成分、または油煙などの油成分を付着したまま放置しない。

しみ・変色、ひびや破損の原因になります。必ず拭き取ってください。



禁止

樹脂部品に油脂類、シンナー、酸性の洗剤、塩素系やアルカリ性の洗剤などは使用しない。

ひびや破損の原因になります。

● 開き扉・引出し前板・棚板・取っ手



禁止

家具用ワックス、シンナー、ベンジンなどの有機溶剤、カビとり剤などを使用しない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。



禁止

開き扉・引出し前板に水をかけたまま放置しない。

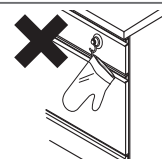
表面のふくれの原因になります。



禁止

開き扉・引出し前板やパネルなどにテープや吸盤などを長期間取り付けたままにしない。

変色やはがれ、ふくれなどの恐れがあります。



禁止

開き扉・引出し前板やパネルなどをメラミンフォームや金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしない。

変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。

●キャビネット



必ず実行

キャビネット内に洗剤等を保管する場合は、必ず密閉し、液垂れしないようにする。

サビの原因になります。



注意

室内の温度や調理機器の加熱によってキャビネットの庫内温度が上昇するので、収納物の保存には留意する。

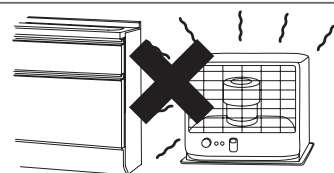
温度変化によって劣化しやすい調味料の保存や、長期保存は避けてください。保存にあたっては、調味料に記載の保存方法に従ってください。



禁止

ストーブ・暖房器具などを近づけない。

キャビネットや扉などの反りや変形の恐れがあります。



注意

ワークトップ、カウンター上に炊飯器を置いて使う場合、吊戸棚に直接蒸気がかからないように留意する。

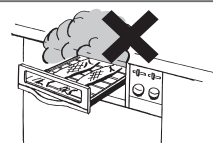
結露により水滴がつき、キャビネットの塗装がはがれたり、ふくらんだりする恐れがあります。水滴を乾いた布で拭き取ってください。



禁止

調理機器のグリル扉を開けたまま使わない。

機器上部の変色やワークトップの焦げや破損、隣接する部材の変形などの恐れがあります。



●お手入れのしかた

キャビネット・ステンレス部品・樹脂部品・開き扉・引出し前板・棚板・取っ手

通常のお手入れ

- ・綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。

汚れた場合のお手入れ

- ・汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落とし、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、乾いた布で乾拭きしてください。

注意

- ・ステンレス扉の場合は、汚れや指紋をつきにくくするためにコーティングが施されています。お手入れ、汚れ落としは、傷をつけないよう注意してください。
- ・開き扉・引出し前板やパネル、樹脂部品などはメラミンフォーム（例：レック株式会社 激落ちくん）や金属タワシ、研磨粒子入り洗浄具などでお手入れしないでください。変色・つやや光沢がなくなったり、塗装がはがれたりする原因になります。

シースルー扉のお手入れ

シースルー扉の半透明は、プラスチック（ポリスチロール）です。汚れた場合は、傷を避けるため、ほこりなどは柔らかいハケで払い落とし、綿などの柔らかい布で拭いてください。

注意

シースルー扉には、ガラスクリーナーを使わないでください。表面が白く変色・変質したり、傷がつく恐れがあります。

4. 調理アイテムの使い方

4.1. ワークトップ・シンク

ワークトップとシンクにはステンレスのものと、人工大理石（アクリストン）のものと2種類があります。

- ・ステンレス：18-8 ステンレスを用い、汚れに強く丈夫です。美コートワークトップとステンレスシンクには美コート（セラミック系特殊コーティング）※1 と、精巧なエンボス加工※2 を施しています。美コートは油汚れが落としやすく、お手入れが簡単です。エンボス加工は、一般的な使用では傷はつきにくく、傷がついても目立ちにくいです。

MEMO

※1 L型美コートワークトップのつなぎ目部分には、美コートを施していません。

※2 ワークトップの前縁部分、バックガード部分、L型美コートワークトップのつなぎ目部分、シンク側面（フライフットマンワークトップ用鏡面仕上げシンクは全面）はエンボス加工ではないので、傷の目立ち具合が異なります。

- ・人工大理石（アクリストン）：美しさと丈夫さを兼ね備え、豊富な色のバリエーションがあります。

使用上の注意

●ワークトップ共通



禁止

硫酸・塩酸などの強酸、「酸性」の表示のある洗剤、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤は使用しない。

変質・変色・サビの原因になります。



禁止

粒子の粗いフレンザー類（研磨剤 20%より粗いもの）や金属タワシなどで、表面をこすらない。ワークトップをまな板代わりに使用しない。

傷がつく恐れがあります。



禁止

強い衝撃を与えない。ワークトップに乗らない。

破損の原因になります。



禁止

ワークトップの上に熱い油鍋、沸騰したやかんなど、熱いものを直接置かない。

変色・変形・割れ・ふくれ（ステンレスワークトップの場合、裏面接着剤のはがれが原因）などの恐れがあります。万一、置く場合は鍋敷き（厚さ 1cm以上）などを使用してください。



禁止

ワークトップの継ぎ目には、熱いものや重いものを長時間放置しない。

反り・ゆがみ・ひび割れ・表面波打ちの原因になります。



禁止

ワークトップの上に水滴や汚れを残したままにしない。

水あかや汚れが落としにくくなります。こまめに拭くようにしてください。

●ステンレスワークトップ、ステンレスシンク

（美コート（セラミック系特殊コーティング）が施されているワークトップ、シンクは除く）



必ず実行

ヘアライン、鏡面仕上げが施されている場合は、食器や調理器具の置き方に注意する。

加工の目の方向と、垂直方向に傷がつくと目立ちます。鍋を置く場合は、鍋敷きをご利用ください。

●美コート（セラミック系特殊コーティング）が施されているワークトップ、シンク



禁止

研磨剤入りの洗剤・研磨粒子入りの洗剤（不織布など）や金属タワシなどで表面をこすらない。また、硬く鋭利なもの・砂・貝殻などを押し付けたり落としたりしない。

傷がつく恐れがあり、汚れが取りづらくなります。

●人工大理石（アクリストン）ワークトップ、人工大理石（アクリストン）シンク



禁止

アルカリイオン整水器・食器洗い乾燥機など、ゴム脚・樹脂脚がついているものやゴム製品を長期間設置しない。

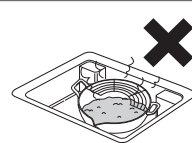
接地面が変色してくることがあります。直接ワークトップに触れないよう、置き台などで工夫してください。



禁止

熱湯を長時間流したり、頻繁に流さない。また、熱い油鍋をシンクの中に直接置かない。

変色・変形の恐れがあります。熱湯を流す場合は、水栓から水を流しながら行ってください。



禁止

塩素系やアルカリ性の洗剤・漂白剤を原液や高温で使用したり、長時間放置しない。

サビや変色の原因になります。また、これらはなるべく使用を控えてください。



必ず実行

色の濃い食品（キムチ、カレー、紅茶、コーヒーなど）や汚れや色の濃いふきん類の染料、またはアルカリ性洗剤・洗剤が付着した場合は、すぐに洗う。

長時間放置すると落としにくくなります。

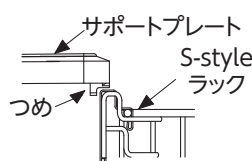
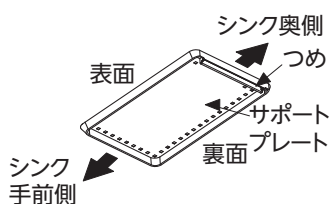
●サポートプレート（S-style ワークトップ用）



必ず実行

サポートプレートは必ず正しい向きで取り付け、つめが S-style ラックに引っ掛かっていることを確認してから使用する。

サポートプレートが落下し、破損やケガの恐れがあります。



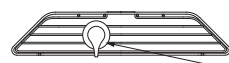
●クリンラック（SC/SH シンク用）



注意

洗剤ボトルをクリンラック（SA/SY シンク用）の端に置かないよう留意する。

クリンラックが傾いて収納物が倒れる恐れがあります。



洗剤ボトル

4. 調理アイテムの使い方

4.1. ワークトップ・シンク

使い方

クリンラック (SC/SH シンク用) の脱着

取り外し方

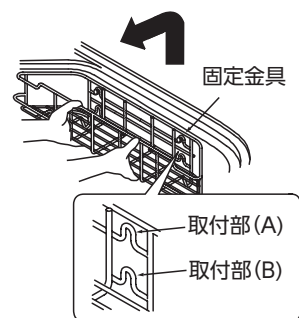
クリンラックの全面を持ち、上に持ち上げる。

取り外すときは、洗剤やスポンジなどの収納物を取り出してから行ってください。

取り付け方

シンクの固定金具に、クリンラックの取付部を上から引っ掛ける。

MEMO 取付部 (A)、取付部 (B) のどちらかを引っ掛けてください。



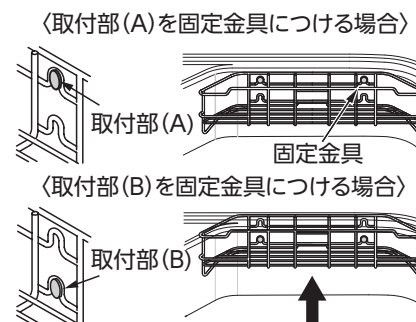
クリンラック (SC/SH シンク用) の上下移動のしかた

クリンラック (SA/SY シンク用) の脱着を参考に、クリンラックを取り外し、上下移動してください。

固定金具に引っ掛ける位置によってクリンラックの高さが変わります。

取り外すときは、洗剤やスポンジなどの収納物を取り出してから行ってください。

MEMO フライパンやホットプレートなど、大きいものを洗うときは、取付部 (B) を固定金具に引っ掛けるとシンク底面を広くお使いいただけます。

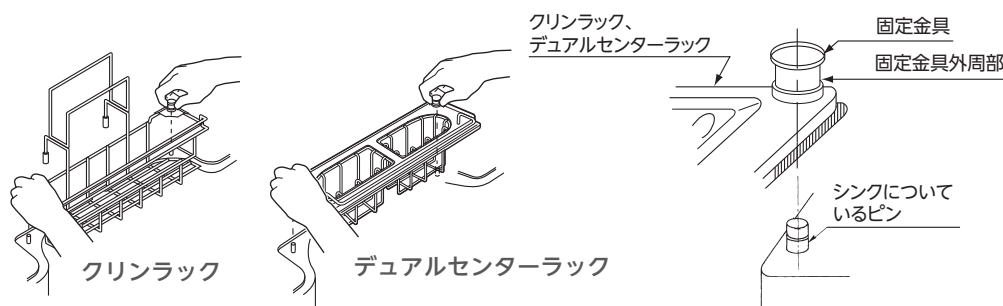


クリンラック、デュアルセンターラックの脱着

取り外し方

親指で固定金具の中心を押さえながら、人さし指と中指で固定金具の外周部を上へ引き、ピンから外す。

取り外すときは、洗剤やスポンジなどの収納物を取り出してから行ってください。



取り付け方

1. 親指で固定金具の中心を押さえながら、人さし指と中指で固定金具の外周部を、上に引き上げる。
2. そのままの状態、シンクに固定されているピンに固定金具をセットする。両方のピンに確実にセットされているか確認する。

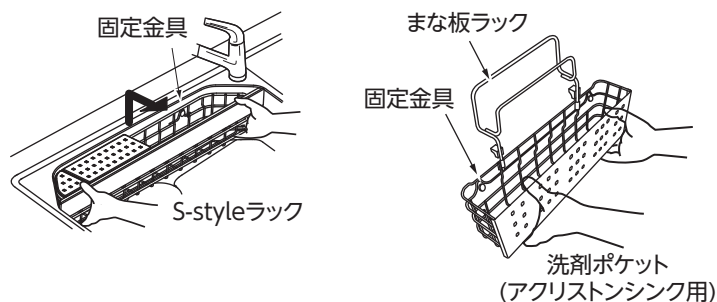
S-style ラック、洗剤ポケット（アクリストンシンク用）の脱着

取り外し方

前面を持ち、上へ持ち上げる。

取り付け方

上から両端の固定金具に引っ掛ける。



まな板ラック（SC/SH シンク用）の脱着

取り外し方

フックの部分を内側に押してフックを外し、クリンラックからまな板ラックを外す。

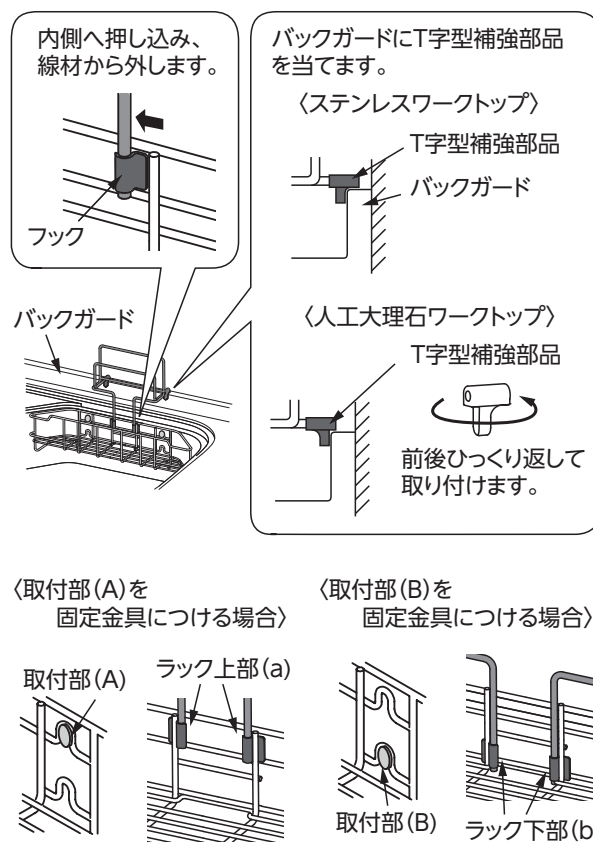
取り付け方

片側のフックをクリンラックにはめ、もう片側のフックを内側に押し込みながらクリンラックにはめる。

T字型補強部品をシンクのバックガードに当たるように取り付け、まな板ラックを動かしてみて、クリンラックから外れないことを確認してください。

MEMO

- 人工大理石（アクリストン）ワークトップの場合、T字型補強部品を前後ひっくり返して取り付けてください。
 - つねにT字型補強部品がバックガードに当たるようにしてください。
- 固定金具に取付部(A)を引っ掛ける際は、フックをラック上部(a)に取り付けてください。
- 固定金具に取付部(B)を引っ掛ける際は、フックをラック下部(b)に取り付けてください。



4. 調理アイテムの使い方

4.1. ワークトップ・シンク

使い方

まな板ラック（アクリストンシンク用）の脱着

取り外し方

フック部分を内側へ押しつけてフックを外し、洗剤ポケットからまな板ラックを外す。

取り付け方

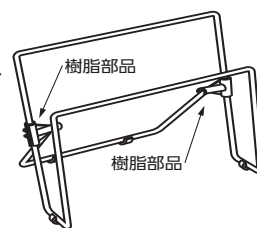
片側のフックを洗剤ポケットにはめ、もう片側のフックを内側に押し込みながら洗剤ポケットにはめる。

L字型補強部品をアクリストンシンクの角部に接するように取り付け、まな板ラックを動かしてみて、洗剤ポケットから外れないことを確認してください。



S-style まな板スタンド (S-style ワークトップ用) の使い方

- S-style まな板スタンドは、ワークトップ上に広げて立て、まな板を立てることができます。また、折りたたんでシンク下ワイヤーラックに収納することができます。収納する場合は、樹脂部品をワイヤーラックの線材に、上からはめ込んでください。
- S-style まな板スタンドに収納できるまな板の厚さは、35mm以下です。



お手入れのしかた

ステンレスワークトップ、ステンレスシンクのお手入れ

通常のお手入れ

- 水を含んだ布または中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

落ちにくい汚れのお手入れ

- 中性洗剤をつけたメラミンフォーム（推奨品：レック株式会社 激落ちくん）または粒子の細かいクレンザー（液体クレンザーなど）を使用してください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行います。

MEMO ヘアライン仕上げの場合は、目の方向と垂直に傷がつくと目立ちますので、目の方向と平行になるように拭いてください。

注意 汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなるため、こまめにワークトップ全体をお手入れしてください。

参照 お手入れスケジュール P.6

- 注意**
- 美コートワークトップ以外に粒子の細かいクレンザー類を使う場合、ワークトップの目立たない部分で傷がつかないかを確認してください。
 - 美コートワークトップにはクレンザー類を使用しないでください。摩耗によって傷やコーティングの性能が劣化する恐れがあります。

ステンレスシンクのお手入れ

通常のお手入れ

- 中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水で洗剤を洗い流してください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

落ちにくい汚れのお手入れ

- 中性洗剤をつけたメラミンフォーム（推奨品：レック株式会社 激落ちくん）を使用してください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行います。

注意 汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなるため、こまめにシンク全体をお手入れしてください。

参照 お手入れスケジュール P.6

注意 クレンザー類を使用しないでください。摩耗によって傷やコーティングの性能が劣化する恐れがあります。

4. 調理アイテムの使い方

4.1. ワークトップ・シンク

美コート（セラミック系特殊コーティング）が施されているワークトップ・シンクに 使用できる洗剤・洗浄具

洗剤を使用する際は、以下の表にあてはまる洗剤・洗浄具を使用してください。「使用できるもの（○）
条件付きで使用できるもの（△）」「使用できないもの（×）」を、品名別に参考事例を示しています。

MEMO 実際のご使用時には、洗剤・洗浄具に記載されている使用上の注意に従ってください。

洗剤・洗浄具

使用判断	種類	液性・成分・材質	使用制限内容および調理アイテムへの影響	洗剤名・洗浄具名
○	洗剤類	台所用洗剤	中性・弱アルカリ性・弱酸性洗剤	 各種 『ファミーシリーズ』（花王）  各種 『チャーミーシリーズ』（ライオン）
	洗浄具類	スポンジ・メラミンフォーム		 『ウレタンスポンジ下面』（ウレタン部）  『ネットつきスポンジ』  『滅落ちくん』（レック）
△	洗剤類	（液状） 台所用漂白剤	高濃度の原液使用や高温使用による長時間放置不可。 （サビ・変色の恐れ）	 各種 『キッチンハイター（液状）』（花王）
		（泡状） 台所用漂白剤	▼ 使用後すぐ水洗いすれば問題なし。	 各種 『キッチンハイター（泡状）』（花王）
× 使用不可	洗剤類	クレンザー 台所用	研磨剤入りの洗剤（クレンザーなど）	 クレンザー
	洗浄具類	ナイロン不織布	研磨粒子入りの洗浄具（不織布など）	 『ウレタンスポンジ上面』（研磨粒子付き不織布部）
		金属タワシ	傷・摩耗によるコーティングの性能劣化、もらいサビの恐れ	 『金属タワシ』

ワークトップ、シンク用以外の洗剤類（ワークトップ用、シンク用ではないが使われる可能性のある洗剤類）

使用判断	種類	液性・成分・材質	使用制限内容および調理アイテムへの影響	洗剤名・洗浄具名
○	排水パイプ用 台所まわり用 合成洗剤	中性・弱アルカリ性・弱酸性洗剤		 『ワイドマジックリン』（花王） ※シンク洗浄には使わないでください。
× 使用不可	排水パイプ用 排水パイプ用 洗浄剤	ケイ酸塩 （『オルトケイ酸ナトリウム』と成分表示している洗剤）	長時間接触による固着・変色の恐れ	 オルト成分ケイ酸ナトリウム
	その他 排水口洗浄剤	固形または粉末の塩素系の洗浄剤（ヌメリ取り剤など）	腐食・サビの恐れ	 ヌメリ取り剤
	その他 洗浄剤など トイレ用	酸性の洗浄剤（塩酸・硫酸・フッ酸などの強酸、研磨剤入りの酸性の洗浄剤）	サビ・変色の恐れ	 洗剤酸性の

※上記の表以外の洗剤・洗浄具をご使用される場合は、用途・液性・成分が合致するものをお使いください。

人工大理石（アクリストン）ワークトップ・シンクのお手入れ

通常のお手入れ

- 水を含んだ布または中性洗剤をつけたスポンジで汚れを落としてください。洗剤を使った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取ってください。最後に乾いた布で乾拭きをしてください。

落ちにくい汚れのお手入れ

- 中性洗剤をつけたメラミンフォーム（推奨品：レック株式会社 激落ちくん）または粒子の細かいクレンザー（液体クレンザーなど）で円を描くように磨いてください。それでも落ちない場合は、研磨粒子入りの洗剤（推奨品：住友スリーエム株式会社 スコッチ・ブライト 抗菌ウレタンスポンジ たわしのナイロン不織布側（緑色側））、または 400 番くらいのサンドペーパーで円を描くように磨いてください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行います。

注意

- ワークトップ、シンク底面以外の場所（側面など）には使用しないでください。つやがなくなり、傷がつく恐れがあります。
- 汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。こまめにお手入れしてください。

参照

お手入れスケジュール P.6

人工大理石（アクリストン）に傷がついたとき

- 傷がついた場合は、上記の落ちにくい汚れの場合と同様に磨いてください。
- 傷が取り切れない場合は、240 番くらいのサンドペーパーで磨いた後に、400 番くらいのサンドペーパーで円を描くように磨いてください。仕上げは、通常の汚れの場合と同様に行ってください。

MEMO

汚れや傷のお手入れをした箇所と、その周辺に光沢の違いが見られる場合は、液体クレンザーと水を含んだスポンジで、さらに全体を磨いてください。

- さらに深い傷や欠けが発生した場合は、お買い求めの販売店、またはクリナップカスタマーセンターまでご連絡ください。傷・欠けの状況によっては、修理ができない場合もあります。

参照

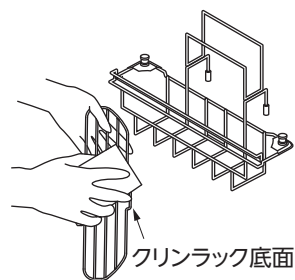
アフターサービスのご用命 裏表紙

クリンラック、デュアルセンターラック、S-style ラックのお手入れ

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。汚れは、ラックを外し、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて、強めに拭いてください。
- 汚れが落ちたら、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で乾拭きしてください。

MEMO

クリンラックは、一番汚れやすい洗剤やスポンジを置いている底面部分だけを外して、お手入れすることができます。



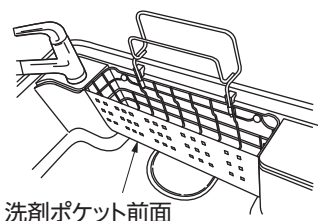
クリンラック底面

注意

汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。

洗剤ポケット（アクリストンシンク用）のお手入れ

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、洗剤ポケットを外し、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて、強めに拭いて落としてください。汚れが落ちたら、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、最後に乾いた布で乾拭きしてください。
- 洗剤ポケットの前面部分は垂直方向に傷がつくと目立ちますので、汚れを落とすときは水平に拭いてください。



洗剤ポケット前面

注意

汚れを長時間放置すると、こびりついて落としにくくなります。

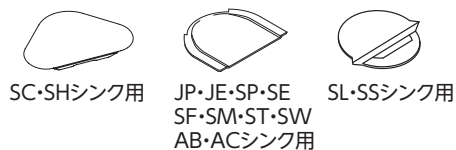
4. 調理アイテムの使い方

4.2. 排水口まわり

排水口の役割は調理クズを一時的にためることと、排水管からの悪臭防止、防虫をすることです。

〈排水トラップ〉

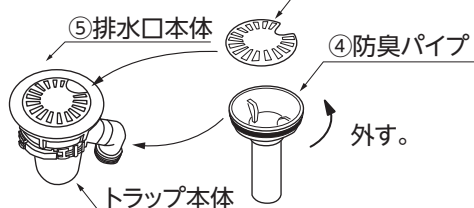
①排水プレート



②浅型カゴ



③排水目皿



使用上の注意



必ず実行

浅型カゴ、排水目皿は必ず取り付けて使用する。

排水管に調理クズなどが流れ込み、排水管のつまりの原因になります。



必ず実行

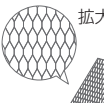
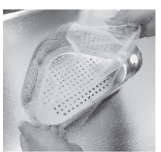
浅型カゴにためたゴミは、こまめに捨てる。

半日以上ためると、悪臭が発生する原因になります。

MEMO

水切りネットを使用した場合、ゴミがつまりやすくなる場合がありますので、よりこまめにゴミを捨ててください。

なお、ご使用になる場合は、下表を参考にしてご使用ください。

浅型カゴ	クリンコーナー
小判型用／三角コーナー兼用等のストッキングタイプ ※20×15cm／20×20cmと記載のあるもの（伸張時）が目安	三角コーナー用のネットタイプ ※25×25cmと記載のものが目安
 拡大イメージ  使用時	 拡大イメージ  使用時



必ず実行

浅型カゴのお手入れは、必ず排水口本体から取り外して行う。

設置した状態で強い力を与えると、変形したり、傷がつく恐れがあります。



禁止

防臭パイプは、通常使用時に取り外さない。

排水管からの悪臭が発生します。排水口本体のお手入れと高圧洗浄を行う際に取り外します。



禁止

洗剤をステンレス部分に長時間放置しない。

変色の恐れがあります。



禁止

成分にケイ酸塩（オルトけい酸ナトリウムと成分表示している洗剤）を含んだ洗剤は使用しない。

万一、誤って使用した場合は、シンクや排水口本体に残らないよう水できれいに洗い流してください。

お手入れのしかた

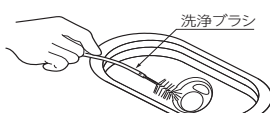
部品ごとのお手入れ方法

- ①排水プレートは、表面にステンレスシンクと同じ美コート（セラミック系特殊コーティング）を施しています。ステンレスシンクと同様のお手入れをしてください。

参照 ステンレスワークトップ、ステンレスシンクのお手入れ P.24

美コートワークトップ、ステンレスシンクで使用できる洗剤・洗浄具 P.26

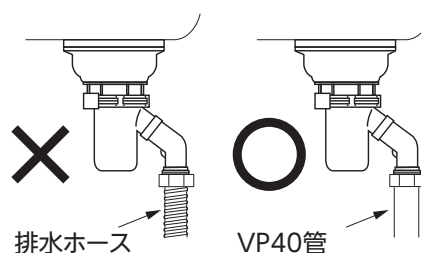
- 排水口周りの、各部品のお手入れは下記の表を参考に行ってください。

部品名	お手入れの目安	方法
①排水プレート	週 1 回以上	中性洗剤を使用する
②浅型カゴ		
③排水目皿		
④防臭パイプ	・月 1 回程度 ・においやつまりを感じたらその都度	中性洗剤をスポンジや洗浄ブラシなどにつけてこすり落とす 
⑤排水口本体		

MEMO ④防臭パイプの取り外しは反時計回りに回し、取り付けは時計回りに回してください。

集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点

- 洗浄前に③排水目皿と④防臭パイプを取り外し、洗浄後は必ず取り付けてください。
- 排水管洗浄業者による排水管の集中洗浄（高圧洗浄）をする場合は、排水口・排水トラップに高い水圧をかけないように打ち合わせをしてください。排水器具などが変形し、水漏れの原因になります。
- 集中洗浄（高圧洗浄）に使用するホースは樹脂製を推奨します。
- 排水ホースで接続されている場合は、高圧洗浄はできません。フリーパイプや肉厚管（VP 管）などで直管配管している場合のみ、高圧洗浄が可能です。



4. 調理アイテムの使い方

4.3. シンク用アクセサリパーツ

シンク周りをより使い勝手よく使用できるアクセサリパーツです。シンク形状により対応しているパーツが異なります。よくご確認の上、ご利用ください。

使用上の注意

●サポートプレート、水切りカゴ、まな板

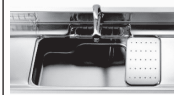


必ず実行

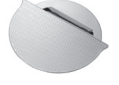
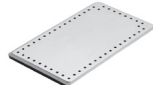
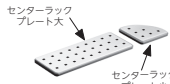
シンクにしっかり載せて使う。

落下する恐れがあります。

ステンレスシンク用アクセサリパーツ

お使いのシンク		SHシンク	SCシンク	SWシンク	STシンク	SMシンク	SFシンク
ステンレスシンク		 W60×D52×H18.5cm	 W75×D52×H18.5cm	 W70×D50.5×H19.6cm	 W85×D50.5×H19.6cm	 W70×D50.5×H21.1(19.6)cm ※寸法の()はスライドサポートありタイプ	 W85×D50.5×H21.1(19.6)cm ※寸法の()はスライドサポートありタイプ
付属品	洗剤ラック	 KAP-CK3 ￥6,000	 KAP-CK2 ￥6,000	 KAP-CK1 ￥8,000		 KAP-SP1 ￥8,000	
	排水プレート	 KAP-HP11 ￥3,800		 KAP-HP5 ￥3,000			
	浅型カゴ	 KAP-AG2 ￥5,000		 KAP-AG1 ￥4,000			
	止水フタ	 ZKPLNN-K ￥800					
オプション品	サポートプレート	 ZKPPJN-K ￥6,000 ※メッシュタイプ	 ●ドット柄 ZKPPSN-K(KAP-S2-14) ●ヘアライン ZKPLN-K(KAP-S2-HL) ●鏡面 ZKPPHN-K ￥6,500 ※品番の()はスライドサポートありタイプ				
	水切りカゴ	 ZKPNNN-K ￥5,500	 PMC-10 ￥5,600				
	まな板ラック/まな板	 ZKPAFN-K ￥1,000	 MHF-1 ￥6,500				
	クリンコーナー	 ZKPKNN-K ￥8,500		※ステンレス製の三角コーナーです。 SC/SHシンクでは、フタの代わりに排水口上部に設置してお使いいただけます。			

ステンレスシンク、人工大理石シンク用アクセサリーパーツ

お使いのシンク		JE/SEシンク	JP/SPシンク	SSシンク	SLシンク	ACシンク	ABシンク	
ステンレスシンク		 W67×D55.5×H21.1cm	 W82×D55.5×H21.1cm	 W60×D50×H21.1cm	 W75×D50×H21.1cm	 W69×D49.2×H19.1cm	 W84×D49.2×H19.1cm	
付属品	洗剤ラック	 KAP-SP1 ¥8,000		 KAP-SP9-SS ¥9,000		 KAP-SP9-SL ¥10,000		 KAP-SP4 ¥8,000
	排水プレート	 KAP-HP5 ¥3,000		 KAP-HP7 ¥4,000		 KAP-HP5 ¥3,000		
	浅型カゴ	 KAP-AG1 ¥4,000					 KAP-H1 ¥1,500	
	止水フタ	 ZKPLNN-K ¥800						
オプション品	サポートプレート	 KAP-S3 ¥6,500	 ●ヘアライン KAP-S7-HL ¥9,000 ●バイブレーション KAP-S7-VB ¥10,000			—	 KAP-S6 ¥5,500	
	センターラックプレート	—	 センターラックプレート大 センターラックプレート小 ●センターラックプレート大 KAP-S11-PL ¥1,600 ●センターラックプレート小 KAP-S11-PS(R/L) ¥900 ※水栓が左にある場合：R 水栓が右にある場合：L			—		
	クリンコーナー	 ZKPKNN-K ¥8,500	※ステンレス製の三角コーナーです。 SC/SHシンクでは、フタの代わりに排水口上部に設置してお使いいただけます。					

表示価格は税抜き価格です。

※商品仕様および価格は、予告なく変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご注文・お問い合わせは、クリナップテクノサービス株式会社アクセサリーパーツ係へどうぞ。
☎0120-846-447

(受付時間／平日9：00～18：00) ※諸般の事情により営業時間が変更になる場合がございますので予めご了承ください。

アクセサリーパーツをご注文いただいた後、お客さまのご自宅へ10日以内にお届けいたします。

※購入申込集中時や連休前後等諸般の事情、お届け先が離島などの一部の地域には、お届けが遅れる場合もございます。

※商品は十分にご用意しておりますが、万一品切れの際はご容赦ください。

- ・商品代金とは別に送料がかかります。
 - ・商品の送料は一律600円（税抜き）とさせていただきます。但し、1回にご購入された商品の合計金額が5,000円（税抜き）以上の場合は送料が無料となります。また、配送先は日本国内に限らせていただきます。
- ※各種割引サービスの適用により、1回にご購入された商品の合計金額が5,000円（税抜き）未満になった場合でも、割引適用前の合計金額が5,000円（税抜き）以上であれば、送料が無料となります。

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

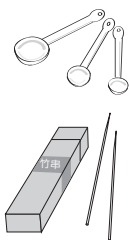
5.1. キャビネットの収納例

本項では収納例をご紹介します。豊富な収納を持つキッチンですので、ご参考の上、お役立てください。なお、キッチンにはさまざまな形状やキャビネット構成があるため、イラストとお客様がご使用の商品とは異なる場合があります。

コンロキャビネット

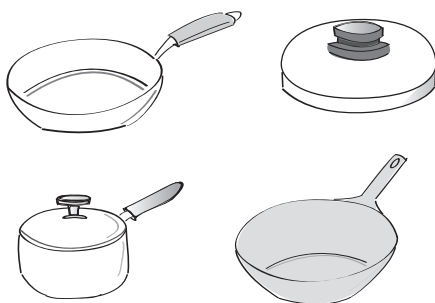
コンロ横引出し

コンロ周りで使用する小物を収納
菜箸、計量スプーン、竹串、
家庭用油凝固剤



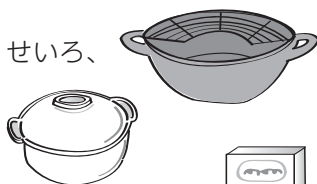
引出し部

火周りで使用する鍋類を収納
両手鍋、片手鍋、中華鍋、圧力鍋、蒸し器、
卵焼き器



引出し部

使用頻度が低い、季節使いの
調理器具を収納
土鍋、天ぷら鍋、せいろ、
カキ氷器



ポケット部

家庭用油凝固剤



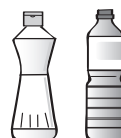
ベースキャビネット

+Free(プラスフリー)

使い方に合わせた収納

引出し部

調理油、ゴマ油、しょうゆ、小麦粉、
パン粉、塩、米



KURAキャビ

冷暗所保存食材

ワゴン付キャビネット

ダストボックスワゴン
昇降式道具収納ワゴン

家電収納キャビネット

炊飯器、電気ポット

引出し部

ストック用の食材類や使用頻度
の低い容器類を収納
缶詰、ビール、ストック用レト
ルト食品、樹脂容器、弁当箱、
ストック用スパイス類



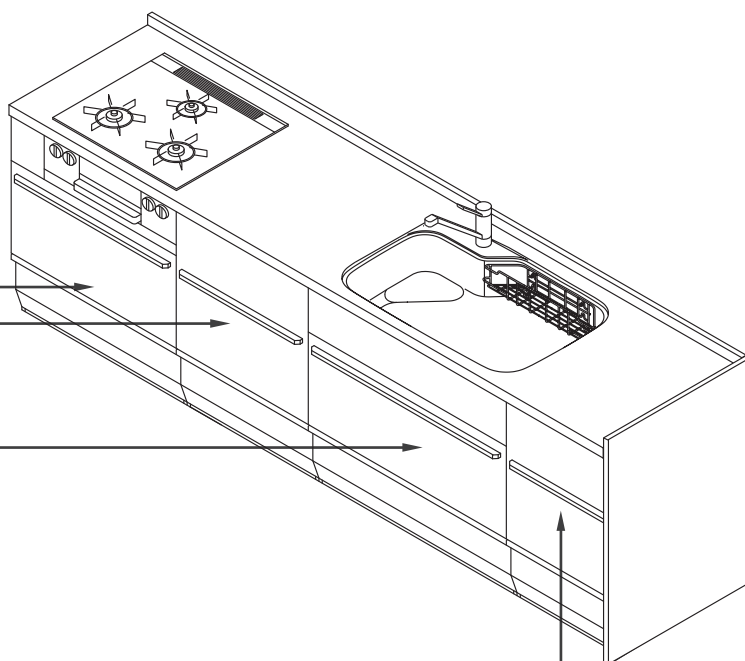
ポケット部

ストック用レトルト食品



ハンドエリア収納

フロアコンテナ



シンクキャビネット

ツールコンテナ

調理に必要な道具類をまとめて収納

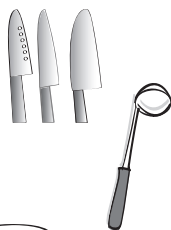
ワイヤーラック (1 段目)

まな板、ふきん



ツールボックス (2 段目)

ラップ、アルミホイル、クッキングシート、包丁、カトラリー類



引出し部 (3 段目)

ボール、ざる、計量カップ、はかり、ふるい



ベースキャビネット

食器洗い乾燥機

食器洗い乾燥機用のスペースとして利用

引出し部

ワインボトル、ペットボトル、一升瓶等の飲み物のストック品

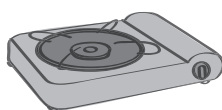


引出し部

卓上調理器具等の週末家電を収納
カセットコンロ、ホットプレート、トースター、電気ポット

ポケット部

ゴミ袋、水切りネット



引出し部

台所清掃用具等の日用ストック品を収納
スポンジ、洗剤、タワシ、漂白剤、ハンドソープ、ゴム手袋、ラップ、アルミホイル

ポケット部

スポンジ、ゴム手袋



5.2. ツールボックス

ツールボックスは、これまでさまざまな場所に収納していた調理道具をまとめて収納することができます。調理中にあちこち開け閉めするわずらわしさを減らします。

使用上の注意



必ず実行

包丁や調理道具などは水気をよく拭き取って収納する。

ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。



必ず実行

引出し本体を脱着するときは、ツールボックスとシンク下ワイヤーラックのレールがぶつからないようにする。

ツールボックスの表面に傷がつく恐れがあります。

使い方

ツールボックスの使い方

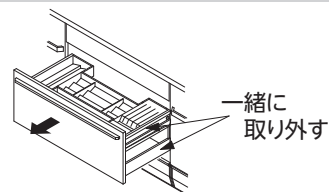
扉を押さえながら、ツールボックス中央部のハンドルを持って、ゆっくりと後方へスライドさせてください。

注意 端を持って操作したり、斜めに力を加えて引き出すと、脱輪する恐れがあります。

ツールボックスの脱着

引出しに載せ、引出し本体ごと脱着してください。

参照 引出しの脱着 P.48



5.3. シンク下ワイヤーラック

シンク下ワイヤーラックにはまな板やふきんを収納することができます。シンク下にあるので、使いたいときにさっと取り出すことができます。

使用上の注意



必ず実行

まな板などは水気をよく拭き取って収納する。

ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。



禁止

シンク下ワイヤーラックを引き出したまま、引出しを閉めない。

シンク下ワイヤーラックがレール類とぶつかって、破損の原因になります。

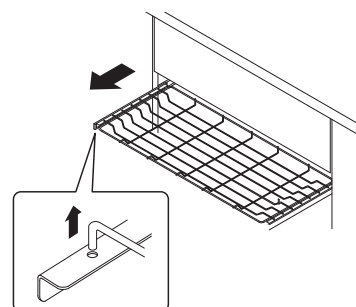
シンク下ワイヤーラックの脱着

取り外し方

引出しを全開させてシンク下ワイヤーラック本体を持ち、上へ持ち上げる。

取り付け方

右図のように、取っ手が前面になることを確認して、レールの上面に開いている穴にシンク下ワイヤーラックのフックを入れる。



5.4. レードルラック

レードルホルダーは調理器具、特にレードル類を扉の内側に効率よく収納することができます。
レードル類を縦に収納することができるので、簡単に取り出すことができます。

使用上の注意



必ず実行

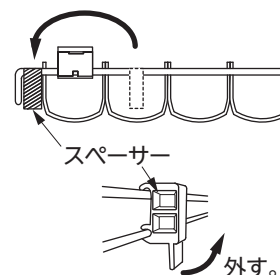
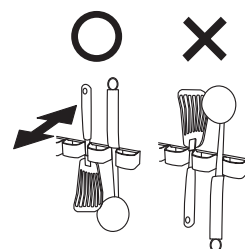
レードル類は水気をよく拭き取って収納する。

ぬれたまま収納すると、扉や引出しに変形・腐食する恐れがあります。

使い方

レードルホルダーの使い方

- レードル類の持ち手を上にして、ホルダーとホルダーの間にはさみ込むように収納してください。
- レードルのはさみ込む力が弱いときは、内側に取り付けてあるスペーサーを外し、端へつけ替えて力の強さを調整してください。シンクキャビネットの間口が75cmの場合は、スペーサーが1つ、それ以外の場合は2つ、ついています。



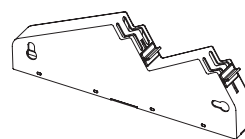
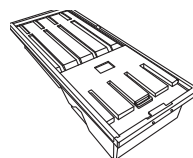
注意

レードルの種類・形状によっては、はさみ込めないレードルがあります。

5.5. 包丁差し

- ・ ツールボックスには、ロック付包丁差しが装備されています。
- ・ S.S. ライトパッケージのシンクキャビネットには S.S. ライトパッケージ用包丁差しが装備されています。

ロック付包丁差し

S.S. ライトパッケージ用
包丁差し

使用上の注意



必ず実行

包丁や調理道具などは水気をよく拭き取って収納する。

ぬれたまま収納すると、扉や引出しが変形・腐食する恐れがあります。



必ず実行

段差に包丁の柄が掛かるように、確実に包丁を差し込む。

扉を引き出したときに包丁がガタつき、思わぬケガをする恐れがあります。



禁止

固定しているねじは外さない。

包丁の落下につながり、思わぬケガをする恐れがあります。

使い方

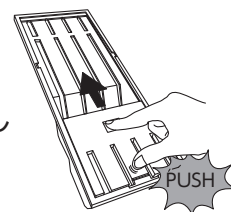
収納できる包丁の本数・大きさ

部位		収納本数	刃の長さ	刃の厚み	刃の幅
ロック付き包丁差し	差込口 (大)	1 本	210mm以下	8mm以下	55mm以下
	差込口 (小)	3 本	210mm以下	5mm以下	55mm以下
ライトパッケージ用包丁差し	差込口 (大)	2 本	210mm以下	8mm以下	55mm以下
	差込口 (小)	2 本	210mm以下	5mm以下	55mm以下

ロック付包丁差しの使い方

左右の本体の上部にあるキャップを外し、調整ねじを⊕ドライバーで回して調整してください。

- ・ ロック付包丁差しには、包丁が 4 本収納できます。
- ・ 出刃包丁などの刃の厚みがある包丁は、一番左の出刃包丁用差し込み溝に収納してください。
- ・ 包丁をロックする場合は、プレートを手前にスライドさせてロックします。
- ・ 包丁のロックを解除する場合は、プレートの「PUSH」部を押しながら、奥へスライドして解除します。

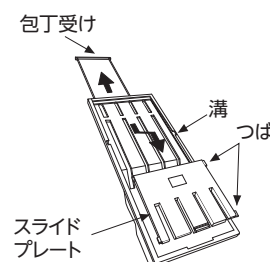


注意 包丁の種類によっては、収納できない包丁やロック機構が使えない包丁があります。

ロック付包丁差しの脱着

取り外し方

1. スライドプレートに包丁トレイ本体の両サイドにある溝から、スライドプレートの手前のつばと奥側のつばを外す。
2. 包丁受けは、右図のように引き抜く。



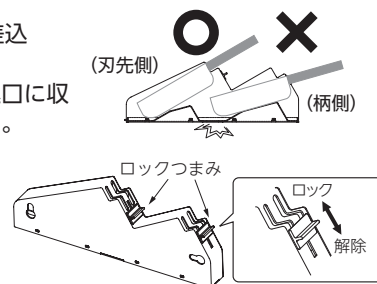
注意 右図のように、スライドプレートと包丁の刃が当たる包丁受けは取り外しできます。お手入れはこの部分を取り外して行うことをお勧めします。

S.S. ライトパッケージ用包丁差しの使い方

- 包丁が4本収納できます。

MEMO 差込口は大小2タイプあります。刃の厚みがある出刃包丁などは、差込口（大）に収納してください。
また、包丁の形状によって収納できないことがあります。柄側の差込口に収納できない場合、刃先側の差込口に収納できないか、ご確認ください。

- 包丁差しの上面のロックつまみを「ロック」方向（上）へずらすと、包丁が抜けなくなります。ロックを解除する場合は、ロックつまみを「解除」方向（下）へずらしてください。



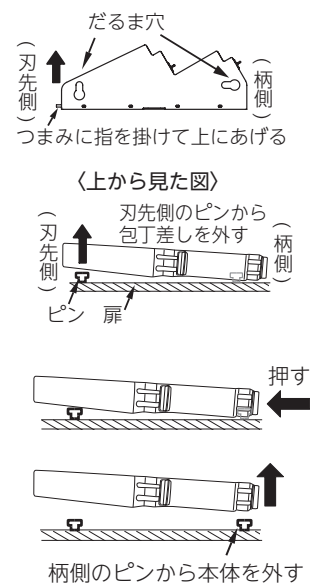
- 注意**
- サイズの小さい包丁は、幅の狭い包丁差込口に収納してください。差込口とサイズが合っていないと、ロックが掛からない恐れがあります。
 - 刃と柄の部分に段差の少ないものは、収納しないでください。ロックが掛からず、引出しを引いた際に包丁が飛び出す恐れがあります。
 - ロックを掛けるときはカチッというまでロック方向にずらしてください。しっかりとロックが掛からず包丁が抜ける恐れがあります。

S.S. ライトパッケージ用包丁差しの脱着

包丁差し本体のだるま穴に扉裏面の2つのピンを差し込んで固定しています。次の手順で扉から外してください。

取り外し方

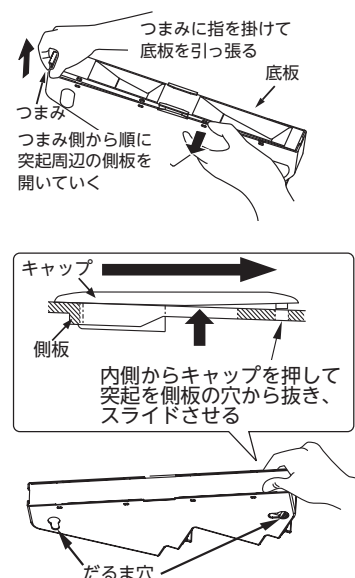
- 包丁差しの刃先側の側面の下部にあるつまみに指を掛けてカチッというまで強く上に引っ張る。そのまま引出しの奥側に動かして刃先側のピンから包丁差しを外す。
- 反対側の側面をカチッというまで押してから引出しの奥側に動かし、もう一方のピンから包丁差しを抜き、扉から完全を外す。
- 図のように本体の側板を開いて底板の突起を本体側板の穴から外す。



取り付け方

- 取り外したときの逆の手順で取り付ける。
- 包丁差しの向きを変える場合は、固定していなかった方のだるま穴についているキャップを包丁差しの内側から押しながらスライドさせて外し、反対側に取り付ける。底板をはめ、包丁差しを扉に取り付ける。
- だるま穴の正しい位置にピンがはまるとカチッといきます。そこまでしっかりと押し込んでください。

MEMO 本体と扉の間にすき間があると、ピンがはまらない場合があります。本体を扉に押し当てながら取り付けてください。



5.6. コンロキャビネット調味料収納

調味料ラック、コンロ横引出し、フックボックス、調味料ケースは調味料の収納としてご利用していただけます。

● 使用上の注意

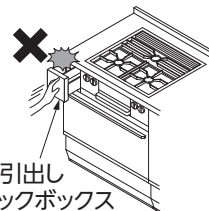
● コンロ横引出し、フックボックス



禁止

コンロ横引出し、フックボックスを勢いよく閉めない。

レールが破損する恐れがあります。



コンロ横引出し
またはフックボックス

● 調味料ケース



禁止

調味料ケースの中には、液体を入れない。

こぼれる場合があります。



禁止

調味料ケースには柑橘類に含まれるテルペン油や、エゴマ油など入れない。

変質することがあります。



禁止

アルコールは使用しない。

調味料ケースのフタが不透明になる恐れがあります。



禁止

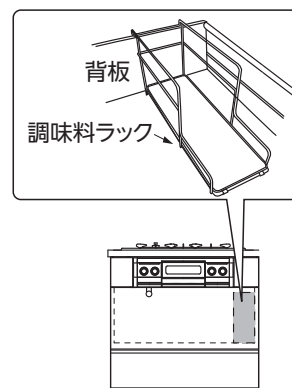
食器洗い乾燥機は使用しない。

調味料ケースが破損する恐れがあります。

● 使い方

調味料ラックの使い方

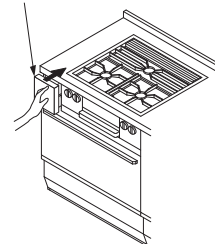
- + Free システム用コンロキャビネットには、引出しに調味料ラックがついています。
- 右図のように、引出しの背板右隅に引っ掛けて使用してください。



コンロ横引出し、フックボックスの使い方

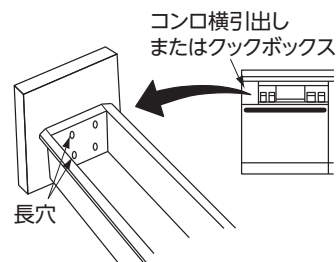
- コンロ横引出し、フックボックスはプッシュオープンレールを使用しています。プッシュオープンレールは製品の特性上、引出し量に若干のばらつきがあります。
- 前板を押してコンロ横引出し、フックボックスを全開する場合は、手で引き出してください。
- コンロ横引出し、フックボックスを閉める場合は、前板を最後まで押し込んでください。

コンロ横引出し
またはフックボックス



コンロ横引出し、クックボックスの前板の調整

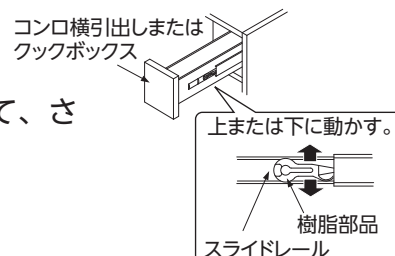
前板を固定しているねじは長穴になっていて、前板の上下調整をすることができます。ねじをゆるめて調整してください。その後、必ずねじを締め直してください。



コンロ横引出し、クックボックスの脱着

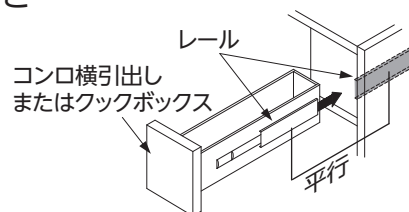
取り外し方

1. 引出しを引き出して、全開にする。
2. 右図のように、レールの樹脂部品を上または下へ動かして、さらにレールと平行に静かに引き出す。



取り付け方

1. 右図のように、レールどうしを平行に合わせ、ゆっくりと静かに奥まで押す。



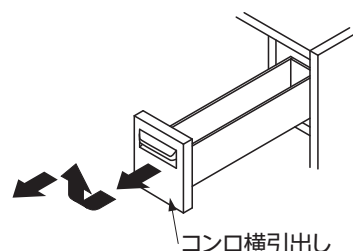
S.S. ライトパッケージ用コンロ横引出しの脱着

取り外し方

引出しをストップするところまで引き出し、持ち上げながら引いて取り外す。

取り付け方

取り外したときの逆の手順で取り付ける。

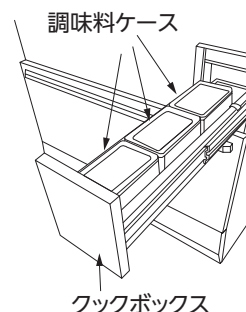


調味料ケースの使い方

クックボックスに設置されている調味料ケースには、粉物（小麦粉、砂糖、塩など）や固形物（唐辛子、ハーブなど）を直接入れて使用しないでください。

調味料ケースのお手入れ

薄めた中性洗剤を布などに含ませ、汚れを落とすか水洗いをしてください。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾拭きしてください。

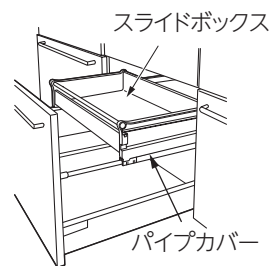


5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.7. スライドボックス付キャビネット

スライドボックスには、粉物の調味料や乾物類など背の低い食材や道具類を入れることができます。

また、手前のハンドルを握って前後に動かすことができます。



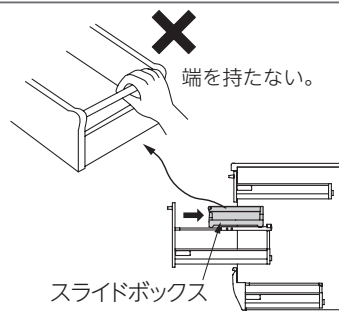
使用上の注意



必ず実行

扉を押さえながらスライドボックスのハンドル中央部を持ち、ゆっくりと前後にスライドさせる。

ハンドルの端を持って操作したり、斜めに力を加えて引き出したりすると、脱輪して破損の原因になります。



使い方

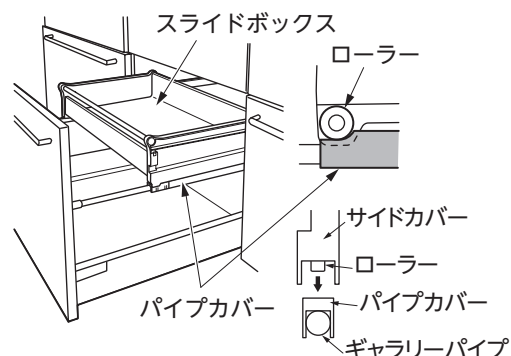
スライドボックスの脱着

取り外し方

引出しを全開させてスライドボックスの両サイドを持ち、上へ持ち上げる。

取り付け方

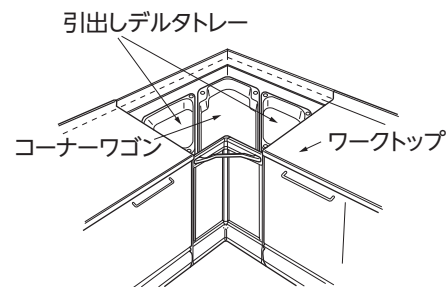
パイプカバーの凸部分とスライドボックス裏側両端にあるサイドカバーの溝部分を合わせて、スライドボックスを載せる。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.8. ワゴン付コーナーキャビネット

普段、使用するものをサッと引き出せるコーナーワゴンに、あまり使用しないものを両サイドの引出しデルタトレイに、それぞれ収納することをお勧めします。



使用上の注意



必ず実行

引出しデルタトレイやコーナーワゴンをキャビネットに収納する際は、ゆっくりと押し入れる。

勢いよく入れると、隣の扉に当たって傷がついたり、収納物が転倒したり、扉やレール、樹脂部品が破損する恐れがあります。



禁止

コーナーワゴンの収納量が少ない場合に、取っ手を握りながら下方向に力を加えない。

コーナーワゴン後方のキャスターが持ち上がることがあります。水平方向に力を加え、ゆっくり押し込んでください。

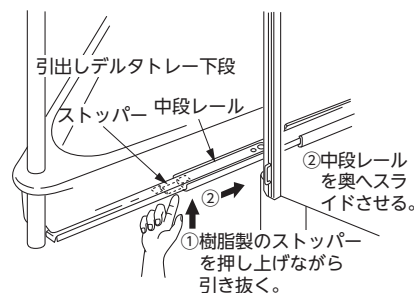
使い方

引出しデルタトレイの脱着

取り外し方

1. レール下面にある樹脂製のストッパーを指で上に押し上げながら、引出しデルタトレイをいっぱいまで引き出す。
2. レールをキャビネットの奥方向へスライドさせる。

レールから取り外せるようになります。レールから外れた状態では、引出しデルタトレイは自立できませんので、倒れないように手で支えてください。



注意

レールがない状態では、引出しデルタトレイは自立できません。必ず、収納物は取り除いてから取り外してください。

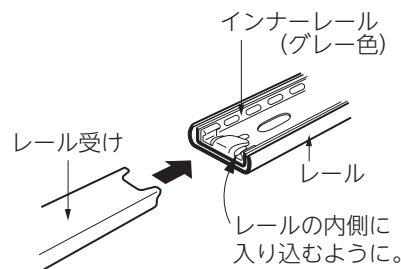
取り付け方

1. 側板についているレールを奥まで入れる。
2. インナーレール(グレー色)をレール手前に移動させる。
3. 引出しデルタトレイについているレール受けを、レールの内側に入り込むように当てがって、奥まで押し込む。

レールの奥になるほど、少し強めに押してください。

4. 引出しデルタトレイを引き出して、所定の位置でトレイが止まることを確認する。

外れる場合は、再度、引出しデルタトレイを取り付けて、前に取り付けたときよりも、さらに奥に押し込んでください。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.9. ボトル対応スライドキャビネット

- ・ ボトル対応スライドキャビネットには一升ビンやペットボトルを収納することができます。また、上部の網カゴには、調味料の小ビンなどが収納できます。
- ・ 上部の網カゴは、収納量に応じて、取付位置を上下に可動できます。一升ビンや2本以上収納する場合は、網カゴを上段に取り付けてください。

MEMO

ボトル対応スライドキャビネットは、収納ラックに何も入れない場合や、小物類のみを収納した場合は、引出しの開閉時にぶれが大きく感じるがありますが、故障ではありません。

〈一升ビン4本収納の場合〉



〈一升ビン1本収納の場合〉



使い方

ボトル用仕切りの脱着

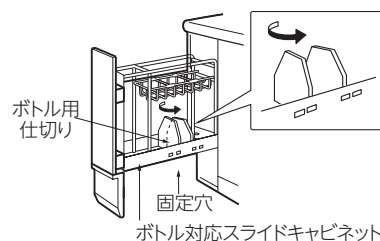
取り外し方

右図の矢印のように仕切りを斜めにして取り外す。

取り付け方

側面の固定穴に合わせて仕切りを差し込む。

“カチッ”と音がするまで、しっかりと差し込んでください。



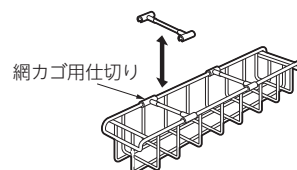
網カゴ用仕切りの脱着

取り外し方

網カゴをラック本体から外し、仕切りのT字の樹脂部分を強く引っ張って外す。

取り付け方

取り外したときと逆の手順で取り付ける。



ボトルラックの脱着

取り外し方

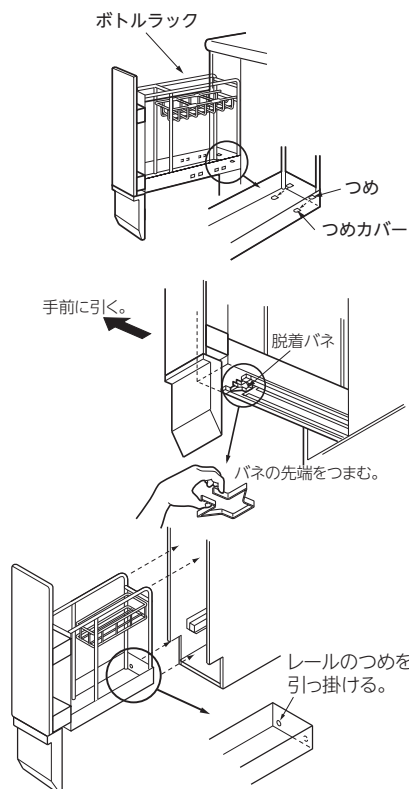
1. ボトルラックを引き出す。
2. ボトルラック奥側についているつまめカバーを取り外す。
3. ボトルラック本体の下側の脱着バネの先端をつまみながら、ボトルラック本体を手前に引いてレールから取り外す。

取り付け方

1. レールをキャビネット内に収納する。
2. ボトルラック本体下側の脱着バネの先端をつまみながら、レールに合わせて脱着バネを取り付け、ボトルラック本体を奥側までスライドさせる。

確認のため、ボトルラックを手前にスライドさせ、奥側にレールのつまめが掛かっているかどうか確認してください。つまめが掛かっていない場合は、もう一度ボトルラックをしっかりとキャビネット奥に収納してください。

3. 奥側のつまめのカバーを取り付ける。



注意

ボトルラックを取り外す場合は、収納物を取り除いてから行ってください。

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.10. ライザー付スライドキャビネット

ライザー付スライドキャビネットは、ライザーを引出しに組み込み、スライドタイプなので重いお米も簡単に引き出して使うことができます。間口 30cmと間口 15cmの2種類を、キッチンのレイアウトによって選ぶことができます。

使用上の注意



必ず実行

ライザーの米受け皿が完全に納まっていることを確認してから、ライザーをキャビネットに収納する。

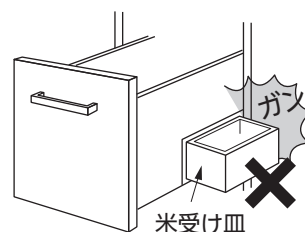
米受け皿が納まっていない状態で収納すると、破損します。



禁止

米を満杯に入れた状態で乱暴に開け閉めしない。

フタが外れて、米が飛び出します。引出しの開け閉めは、丁寧に行ってください。



使い方

間口 15cmタイプの脱着

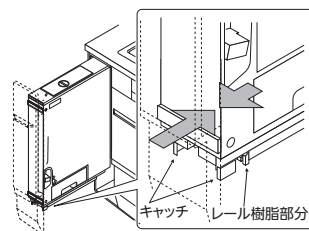
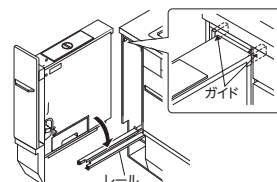
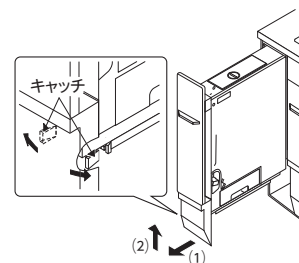
取り外し方

1. ライザーを引き出し、ライザー裏側についているキャッチを同時に外側に引き、そのまま引き出してキャッチを外す。
2. ライザーを持ち、まっすぐ上に持ち上げる。

取り付け方

1. 側板についているレールを奥まで入れる。
2. インナーレール（グレー色）をレール手前に移動させる。

注意 ライザー取り付け後、ライザーをゆっくり開け閉めし、レールに固定されているか確認してください。



間口 30cmタイプの脱着・調整のしかた

1. 高さ調整のしかた

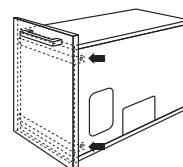
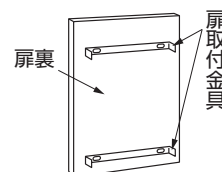
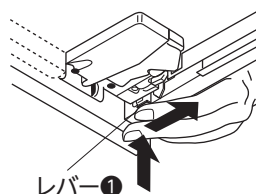
ライザー底板の①のレバーを押しながら、前後に動かしてください。調整範囲は、3mmです。

2. 左右調整のしかた

ライザー横のねじを取り外し、扉をライザーから外してください。扉取り付け金具の長穴を利用して、左右調整をしてください。

3. 前後調整のしかた

ライザー横のねじをゆるめて、前後調整をしてください。調整後は、ねじをしっかり締めてください。調整範囲は、2mmです。



5.11. 昇降式道具収納ワゴン付キャビネット

昇降式道具収納ワゴンは、大型の調理道具や調理家電を、いつでも使える状態で収納できる可動式の昇降タイプのワゴン収納です。キャビネットには2口のコンセントがついています。

使用上の注意



禁止

消費電力の合計が 1500 W を超える電気製品は接続しない。

破損や火災の原因になります。

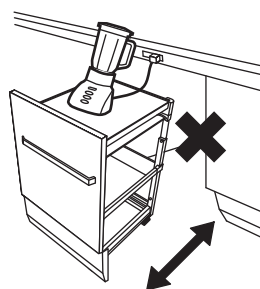
2口の合計で
1500Wまで



禁止

ワゴンの天板に電気製品を載せ、コンセントに差し込んだままワゴンを動かさない。

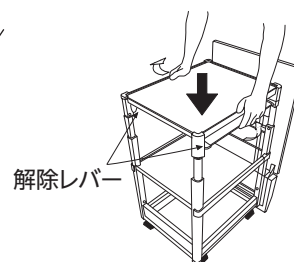
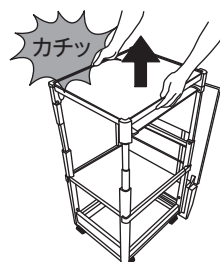
電気製品が落下したり、コードが切れたりして破損の原因になります。



使い方

ワゴンの高さ調節

- ワゴンの天板の高さを変えることができます。(高さ 68.5cm、75cm、80cm、85cm、90cm)
- 天板を持って上へスライドさせてください。“カチッ”と音がしたところで手を離すと止まります。
- 高さを下げるときは、両側についている解除レバーを同時に握り、下へスライドさせてください。

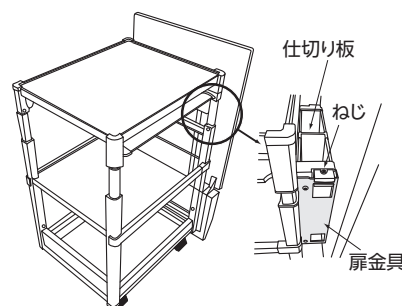


タテ収納ポケットのお手入れ

薄めた中性洗剤を布などに含ませ、汚れを落とします。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾拭きしてください。

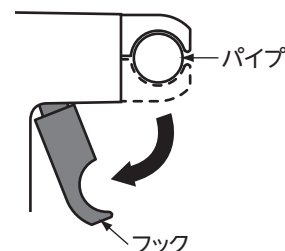
取り外し方

- ⊕ドライバーで、両端の樹脂部にあるねじをゆるめる。
- 図のように、樹脂部の下側にあるフックを回転させてから、本体を持ち上げて外す。



取り付け方

- 樹脂部の下側にあるフックが、下へ回転した状態になっていることを確認してから、本体をワゴン本体と扉の中に入れる。
- 樹脂部の下側にあるフックを上へ回転させて、扉金具のパイプをはさみ込むように、⊕ドライバーで、ねじを締め付ける。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.12. 開き扉・引出し前板・棚板

● 使用上の注意

●開き扉・引出し



禁止

扉を調整する場合は、ねじをゆるめすぎない。

ねじをゆるめすぎると扉が落ちて、ケガをする恐れがあります。



必ず実行

コンロキャビネットの引出しは、コンロと接触しないように調整する。

コンロと扉や取っ手がこすれて、傷の原因になります。



禁止

扉と引出しを無理に力を入れて急に閉めない。

サイレント効果が弱まるばかりではなく、サイレントダンパー、ブルモーション機構が破損する恐れがあります。

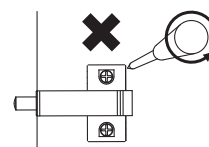
●サイレントダンパー



禁止

サイレントダンパーは適度な効果を示す位置に取り付けてあるので、無理に本体を固定するねじをゆるめて動かしたりしない。

サイレントダンパーが外れたり、破損したりする恐れがあります。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

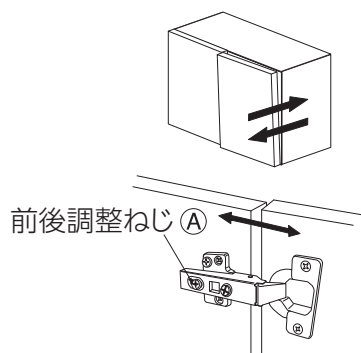
5.12. 開き扉・引出し前板・棚板

使い方

開き扉の調整のしかた

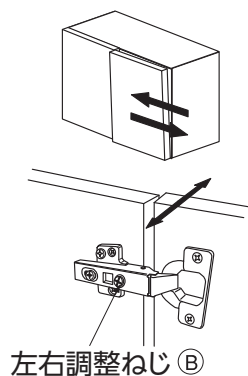
- 調整前に丁番、座のゆるみがないことを確認してください。ゆるみがある場合は、丁番と座を取り付けているねじをしっかりと締め付けてください。
- 扉の左右両端とキャビネットの外側との間隔が1mm以上になるよう左右調整してください。また、左右両開き（観音開き）扉の場合は、扉と扉のすき間が3mm以上になるようにしてください。
- 扉面とキャビネットが平行になるように調整してください。

●前後調整



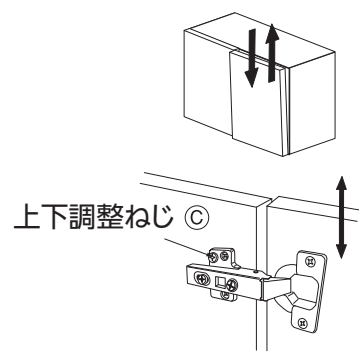
ねじ①を左に回すと扉が前に、
右に回すと扉が後に動きます。

●左右調整



ねじ②を右に回すと扉が外側に、
左に回すと扉が内側に動きます。

●上下調整

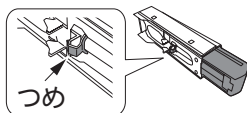


ねじ③をゆるめて扉を上下に調整した
後、調整ねじ③を締め直します。

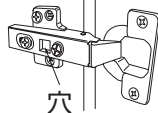
MEMO コーナー用扉の場合は、前後、左右の調整時に扉の動く向きが図と逆になります。

サイレントダンパーの脱着

〈サイレントダンパー〉



〈丁番〉

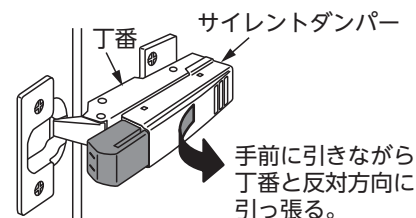


※サイレントダンパーは機構上、すべての
丁番にはついていません。
扉の片側（上部または下部）、もしくは扉の
大きさや扉の種類によっては両側（上部
および下部）についている場合があります。

取り外し方

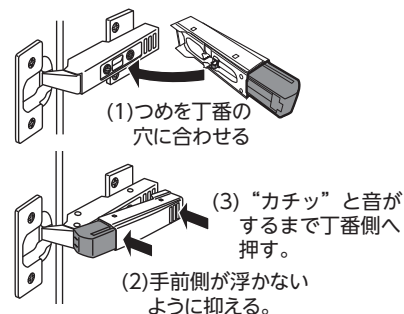
サイレントダンパーを手前に引きながら、手前側を丁番と
反対方向に引いてください。

サイレントダンパーを外したときは、必ず元の丁番に取り付けて
ください。



取り付け方

- サイレントダンパーの裏面のつめが、丁番の長方形の
穴に入るように合わせます。
- 手前側が浮かないようにしっかり抑えます。
- 奥側を“カチッ”と音がするまで丁番側に押し込みます。



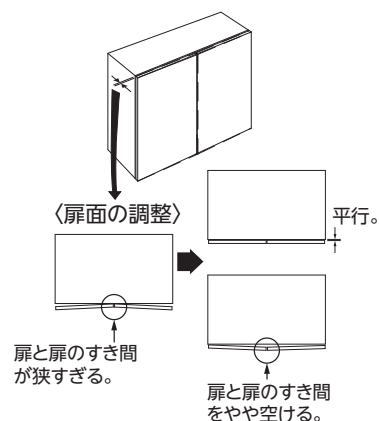
注意 サイレントダンパーを脱着する際は、必ずこの方法で行ってください。無理に脱着するとサイレントダンパーのつめが変形し、落ちて、ケガをする恐れがあります。

サイレントダンパーの脱着（つづき）

以下の場合、サイレント効果が弱いと感じられます。

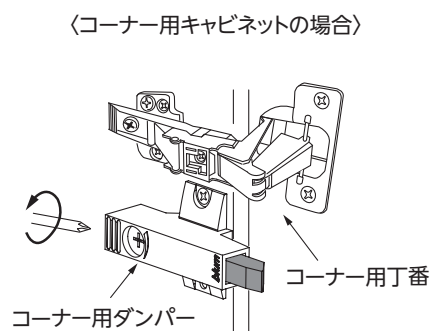
- ①扉を閉めた状態で、扉の丁番取り付け部よりも、扉の裏面がキャビネット本体に近すぎるとき。
- ②小さいサイズの扉のとき。
- ③左右両開き（観音開き）扉で、片方の扉を開けた状態で、もう片方を閉めたとき。

上記①、②の場合には、扉面がキャビネットと平行、もしくは扉の裏面をキャビネットからやや離すように扉を調整してください。



サイレントダンパーの調整のしかた

- ・ コーナー用キャビネット、吊戸棚には右図のようなサイレントダンパーがついています。ダンパーの押し代を伸ばしたり、縮めたりすることで、扉を閉めるときに、ダンパーが扉の裏面に接触してから閉まりきるまでの時間を調整することができます。



サイレントダンパーのねじを正面から向かって反時計回りに回すとダンパーの押し代が伸びて、扉が閉まりきるまでの時間が長く（強）なります。時計回りに回すと押し代が縮まり、時間が短く（弱）なります。

扉を閉めるとき、扉裏面とサイレントダンパーの先端がこすれる音がある場合があります。その場合には、サイレントダンパーの先端部がずれないことを確認しながらサイレントダンパーのねじを回し、調整すると音は消えます（サイレント効果は変わりません）。

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.12. 開き扉・引出し前板・棚板

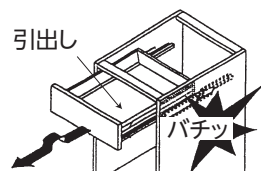
サイレントダンパーのお手入れ

扉を開閉する頻度によっては、扉裏面のサイレントダンパーの接触する部分が汚れる場合があります。その場合は、中性洗剤を使って拭き取ってください。

引出しの脱着

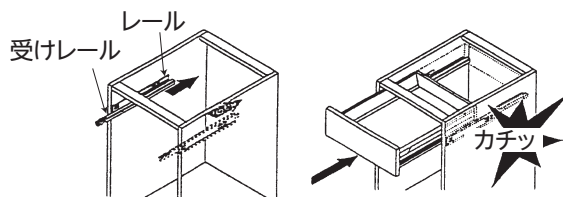
取り外し方

1. 引出しをストップするところまで引き出す。
2. 少し持ち上げて（“バチッ”と音がしてロックが外れる）、レールと平行に静かに引き出す。



取り付け方

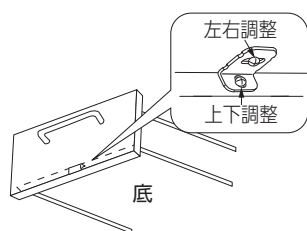
1. 受けレールを奥まで入れる。
2. 引出しの奥1／3くらい受けレールに載せ、レールと平行に静かに奥まで押す。（“カチッ”と音がしてロックが掛かる）



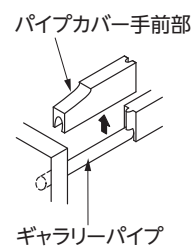
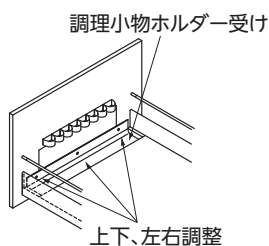
引出し前板の調整のしかた

- キャビネットの間口60cm以上の引出しには、前板裏面と引出し底板に前板調整部品がついています。ねじをゆるめてから下記の手順で調整を行い、調整後は必ずねじを締め直してください。
- シンクキャビネットの引出しを調整する場合は、扉裏面の調理小物ホルダー受けから、固定されているねじをゆるめます。次に、パイプカバーの手前部を外して調整してください。調整後は、必ずねじを締め直してください。

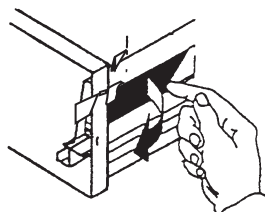
〈前板調整部品〉



〈シンクキャビネットの場合〉



1. 脇カバーを外す。

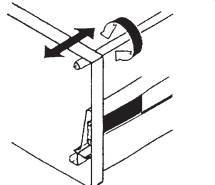


カバー下側を上
に押し上げ気味に外
します。

引出し前板の調整のしかた（つづき）

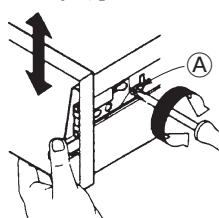
2. 調整する方向によって、下図のようにねじを回してください。

● 前板傾き調整 (ギャラリー付の場合)



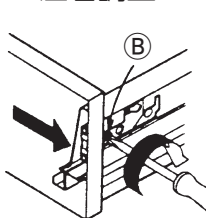
ギャラリー棒を回して傾きを調整します。

● 上下調整

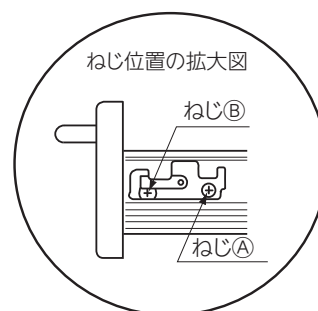


ねじAを左右に回して調整します。

● 左右調整



ねじBを左右に回して調整します。



3. 調整後、脇カバーを戻す。

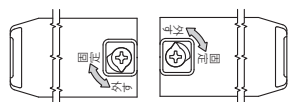
MEMO 引出し開放防止部品付キャビネットの場合は、脇カバーを外した後に、ラッチ受けを外してください。



固定ねじを左へ回すとラッチ受けのロックが解除され、外れます。

〈ラッチ受け〉

このラッチ受けは左右共通です。
取り外しの際は、刻印されている「外す」の方向に回します。
取り付けの際は、必ず「固定」の方向に回してください。

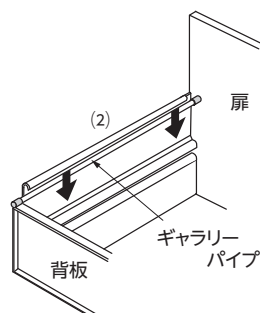
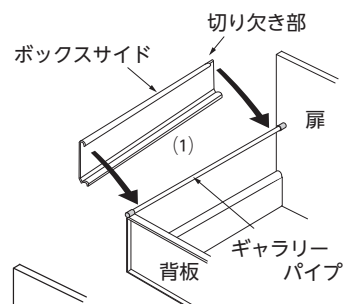


左側設置の場合 右側設置の場合

ボックスサイドの脱着

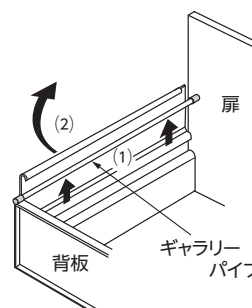
取り付け方

1. 切り欠き部を扉側にして、引出しの外側からギャラリーパイプに押しあてる。
2. ボックスサイドの上部がギャラリーパイプに引っ掛かるように、上から押し付ける。



取り外し方

1. ボックスサイドを、上へ持ち上げる。
2. 引出しの外側方向へ取り外す。



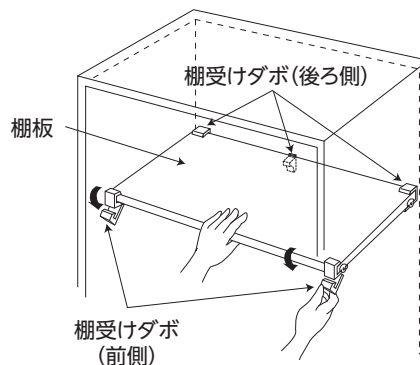
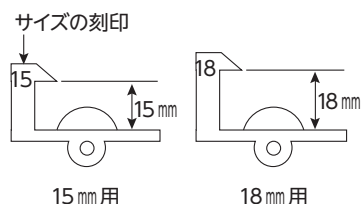
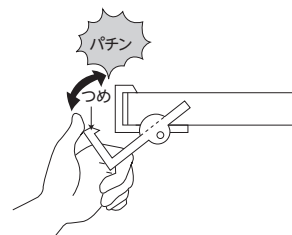
5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.12. 開き扉・引出し前板・棚板

木製棚板の脱着

取り外し方

1. 前側の左右の棚受けダボのつまめ部分を、棚板を押さえながら、“パチン”と音がして外れるまで、手前へ強く引く。
2. 棚板を前へ引いて取り外す。



注意 棚受けダボは、棚板の厚さ（15mm、18mm）によってサイズが異なります。必ず棚板と組み合わせて使用、保管してください。棚受けダボのサイズは、ダボ横に刻印されています。

取り付け方

1. 棚受けダボを棚受けダボ穴に根元まで差し込む。

幅の大きい棚板は、キャビネット背板の中央部分にも棚受けダボがあります。

注意

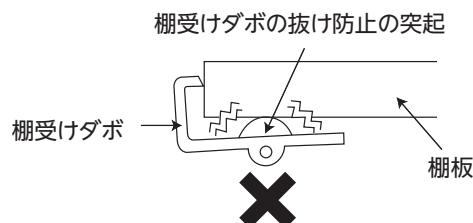
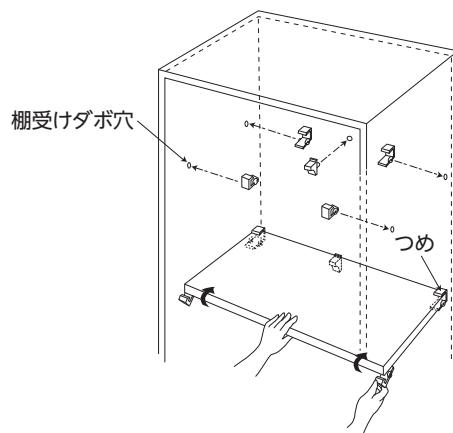
- ・差し込みが浅いと、棚板が棚受けダボの抜け防止の突起部分にあたり、棚受けダボが破損する恐れがあります。
- ・棚板をセットするときは、棚受けダボにある「抜け防止の突起」を変形させないでください。棚板のガタつきの原因になります。

2. 後ろ側の棚受けダボのつまめに、棚板をしっかりとめ込む。
3. 棚板を押さえながら、前側の棚受けダボを下から強く押し上げる。

つまめが棚板にはめ込まれ、“パチン”という音がするまで押し上げてください。

4. 棚板にガタつきがないか、確認する。

ガタつきがある場合は、取り付け直してください。



5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.13. キャビネット用オプションパーツ

オプションパーツを使用すれば、より効率的な収納ができます。各オプションパーツの取り付け可能な引出しについては、以下のイラストを参照してください。

※商品仕様及び価格は予告無く変更する場合があります。

注 意

ツールボックス、スライドボックスがついている引出しには、ダブルボックスサイド、スチールバックサポートは取り付けられません。

〈引出しオプションパーツの使用可能場所〉

〈S.S. キッチンセット側〉

コンロキャビネット
 ・クロスギャラリー
 ・ダブルボックスサイド
 ・フライパン立て

ベースキャビネット
 ・クロスギャラリー
 ・ダブルボックスサイド
 ・ボトル立て

・タテ収納ポケット
 ・レードルポケット

フロアコンテナ
 ・ライザー (ZKCFNN-K)

〈S.S. ライトパッケージ キッチンセット側〉

コンロキャビネット
 ・クロスギャラリー
 ・シングルボックスサイド
 ・スチールバックサポート
 ・フライパン立て

ベースキャビネット
 ・クロスギャラリー
 ・シングルボックスサイド
 ・ボトル立て
 ・レードルポケット
 ・スチールバックサポート

シンクキャビネット
 ・クロスギャラリー
 ・シングルボックスサイド
 ・レードルポケット

フロアコンテナ
 ・ライザー (ZKCFNN-K)
 ・シングルボックスサイド
 ・ダブルボックスサイド

〈収納側〉

・サイドギャラリーなしの引出し	・引出し仕切り部材
・シングルサイドギャラリー (ロータイプ) 付の引出し 約6cm	・クロスギャラリー ・シングルボックスサイド ・ボトル立て ・スチールバックサポート ・レードルポケット
・シングルサイドギャラリー (ハイタイプ) 付の引出し 約12cm	・クロスギャラリー ・ダブルボックスサイド ・ボトル立て ・レードルポケット
・ダブルサイドギャラリー付の引出し 	

● クロスギャラリー

引出しのギャラリーパイプに取り付けることで、引出し内部を仕切ることができます。

キャビネットの種類	間口	品番	価格 (税抜き)
ベースキャビネット用	30cm	HAC-30N	¥1,100
	45cm	HAC-45N	¥1,200
	60cm	HAC-60N	¥1,200
	75cm	HAC-75N	¥1,300
	80cm	HAC-80N	¥1,300
	90cm	HAC-90N	¥1,300
	95cm	HAC-95N	¥1,500
	100cm	HAC-100N	¥1,500
シンクキャビネット用 (S.S. ライトパッケージのみ)	105cm	HAC-105N	¥1,500
	60cm	HAC-60N	¥1,200
	75cm※	HAC-75G	¥1,300
コンロキャビネット用	90cm※	HAC-90G	¥1,300

※フラット対面アイランドタイプの場合は、ベースキャビネット用 (HAC-75N、90N) となります。

クロスギャラリー

使用例

ねじ

ギャラリーパイプ

クロスギャラリー

ねじ

取り付け方、位置の調整のしかた

⊕ドライバーで両端の樹脂部にあるねじをゆるめる。調整後、ねじを締め直す。

5

収納アイテムの使い方-キャビネット

51

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.13. キャビネット用オプションパーツ

引出し仕切り部材 (2 個セット)

引出しの間口を収納物のサイズに合わせて分割できるので、小さな収納物も引出し内で散らばりません。

対応しているキャビネットの種類	品番	価格(税抜き)
フラット対面ダイニング側引出し用	HASG-27	¥2,200
片面カップボード・フロアカウンター (奥行45cm) 引出し用 システムエリア収納中台引出し用	HASG-35	¥2,500



引出し仕切り部材



使用例

ボックスサイド (左右 2 個セット)

収納物の引出しわきへの落下を防ぎます。重ねての収納や背の高い収納物の収納が安心してできます。

シングルボックスサイド

●ロータイプ

引出し奥行	品番	価格(税抜き)
35cm	KAP-35SBS	¥1,500
40cm	KAP-40SBS	¥1,500
45cm	KAP-45SBS	¥2,000
50cm	KAP-50SBS	¥2,000
55cm	KAP-55SBS	¥2,000



ロータイプ



使用例

●ハイタイプ

引出し奥行	品番	価格(税抜き)
35cm	ZKH035BS-K	¥2,000
40cm	ZKH040BS-K	¥2,000
45cm	ZKH045BS-K	¥2,500
50cm	ZKH050BS-K	¥2,500
55cm	ZKH055BS-K	¥2,500

※高さ 80 cm のキッチンのフロアコンテナには対応不可です。



ハイタイプ
(標準引出し用)



使用例

ダブルボックスサイド

引出し奥行	品番	価格(税抜き)
35cm	ZKH035BD-K	¥2,000
40cm	ZKH040BD-K	¥2,000
45cm	ZKH045BD-K	¥2,500
50cm	ZKH050BD-K	¥2,500
55cm	ZKH055BD-K	¥2,500



ダブルボックス
サイド



使用例

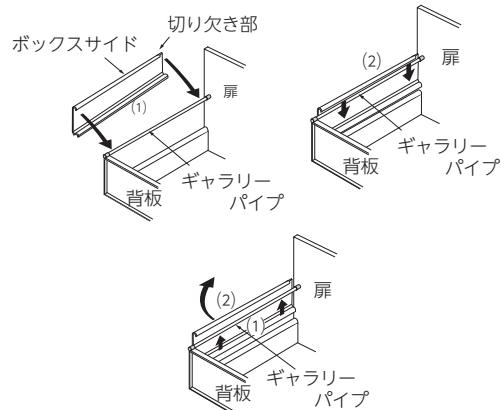
ボックスサイドの脱着

取り付け方

1. 切り欠き部を扉側にして、引出しの外側からギャラリーパイプに押し当てる。
2. ボックスサイドの上部がギャラリーパイプに引っ掛かるように、上から押し付ける。

取り外し方

1. ボックスサイドを、上へ持ち上げる。
2. 引出しの外側方向へ取り外す。



ボトル立て

調味料などのボトルの大きさに合わせて調整できる仕切りです。ボトルが倒れる心配がなくなり、使いやすくなります。

キャビネット間口	品番	価格(税抜き)
30cm	HACB-30N	¥1,700
45cm	HACB-45N	¥2,100
60cm	HACB-60N	¥2,300
75cm	HACB-75N	¥2,500
90cm	HACB-90N	¥4,200

MEMO 取付位置の調整方法は、クロスギャラリー (P.50) と同様です。



ボトル立て

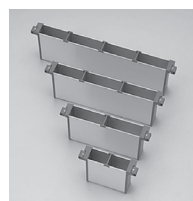


使用例

タテ収納ポケット (ベースキャビネット用)

レードル類やラップなどの収納に便利です。引出しを少し引くだけで取り出せます。

キャビネット間口	品番	価格(税抜き)
30cm	HATP-30N	¥2,800
45cm	HATP-45N	¥3,400
60cm	HATP-60N	¥4,100
75cm	HATP-75N	¥4,800



タテ収納ポケット



使用例

レードルポケット

おたまやしゃもじなどを入れるのに便利です。クロスギャラリーに取り付けて使用します。

引出しタイプ	品番	価格(税抜き)
シングルサイドギャラリー(ロータイプ) ダブルサイドギャラリー	ZKHXNN-K	¥1,200
シングルサイドギャラリー(ハイタイプ) ダブルサイドギャラリー	KAP-KP	¥700



ZKHXNN-K KAP-KP

レードルポケット



使用例

スチールバックサポート

収納物の引出し奥への落下を防ぎます。重ねての収納や背の高い収納物の収納が安心してできます。

キャビネット間口	品番	価格(税抜き)
30cm	ZKH030KN-K	¥1,800
45cm	ZKH045KN-K	¥2,000
60cm	ZKH060KN-K	¥2,200
75cm	ZKH075KN-K	¥2,500
90cm	ZKH090KN-K	¥2,800
105cm	ZKH105KN-K	¥3,200



スチールバックサポート



使用例

タオル掛け (ライン取手用)

使いやすい高さで、引出しにはさまる心配なくタオルが使用できます。

品番	価格(税抜き)
LT-211TK	¥3,000



タオル掛け



使用例

5. 収納アイテムの使い方-キャビネット

5.13. キャビネット用オプションパーツ

● フロアコンテナ用ライザー（米びつ）

間口 45cm以上、引出し奥行 40cm以上のフロアコンテナ内に収納できます。お米が約 11 kg 入る容量があります。

品番	価格(税抜き)
ZKCFNN-K	¥4,000

※高さ80cmのキッチンのフロアコンテナには対応不可です。



フロアコンテナ用
ライザー



使用例

● 開き扉用ライザー（米びつ）

間口 30cm以上、奥行 45cm以上の開き扉内に収納できます。お米が約 10 kg 入る容量があります。

品番	価格(税抜き)
ZKCRNN-K	¥10,000



開き扉用ライザー

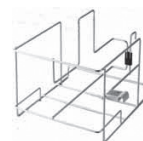


使用例

● フライパン立て（コンロキャビネット用）

コンロキャビネットの引出しに設置すれば、フライパンを立てて収納できます。

品番	価格(税抜き)
ZKHGNN-K	¥7,000



フライパン立て



使用例

**ご注文・お問い合わせは、クリナップテクノサービス株式会社アクセサリパーツ係へどうぞ。
☎0120-846-447**

(受付時間／平日9:00～18:00) ※諸般の事情により営業時間が変更になる場合がございますので予めご了承ください。
アクセサリパーツをご注文いただいた後、お客さまのご自宅へ10日以内にお届けいたします。

※購入申込集中時や連休前後等諸般の事情、お届け先が離島などの一部の地域には、お届けが遅れる場合もございます。

※商品は十分にご用意しておりますが、万一品切れの際はご容赦ください。

- ・商品代金とは別に送料がかかります。
- ・商品の送料は一律600円（税抜き）とさせていただきます。但し、1回にご購入された商品の合計金額が5,000円（税抜き）以上の場合は送料が無料となります。また、配送先は日本国内に限らせていただきます。
※各種割引サービスの適用により、1回にご購入された商品の合計金額が5,000円（税抜き）未満になった場合でも、割引適用前の合計金額が5,000円（税抜き）以上であれば、送料が無料となります。

6.1. 使用上の注意、お手入れのしかた

● 使用上の注意

昇降式の吊戸棚をご使用の際は、以下の点にご注意ください。



禁止

棚やラックが降りてくる範囲には、背の高いものを置かない。

収納ラックとぶつかり、破損する恐れがあります。



禁止

棚に衝撃を与えるように、ものを置かない。ものを引きずらない。

傷や破損の原因になります。



禁止

棚にぬれた包丁・缶詰などの金属製品、塩・しょうゆを長時間放置しない。

もらいサビを起こす恐れがあります。



必ず実行

昇降操作はハンドルの中央を持ってゆっくり行う。

端を持つと、レールが変形し、異音、破損の原因になります。また、勢いよく引き出すと、収納物の落下や、機構部の故障の原因になります。

● お手入れのしかた

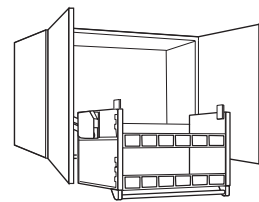
吊戸棚収納の各アイテムについて、特に記載がない場合は次の方法でお手入れをしてください。

- 通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落としてください。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で乾拭きしてください。

6. 収納アイテムの使い方-吊戸棚

6.2. ムーブダウン吊戸棚

ムーブダウン吊戸棚は、収納物の重量に合わせて軽い力で降ろせる可動式の吊戸棚です。



使用上の注意



禁止

落下防止バーを持って引き出さない。

落下防止バーが外れたり、曲がったりする恐れがあります。



必ず実行

落下防止バーを必ず掛けて使用する。

昇降時に収納物が動いて落下する恐れがあります。



禁止

ぬれたものを収納しない。

破損やサビの原因になります。



禁止

調理作業時などに、収納ラックを降ろしたまま放置しない。

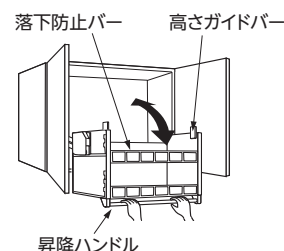
頭などをぶつける恐れがあります。

使い方

ムーブダウン吊戸棚の使い方

昇降ハンドルの中央部を両手で持ち、ゆっくり上げ下げしてください。

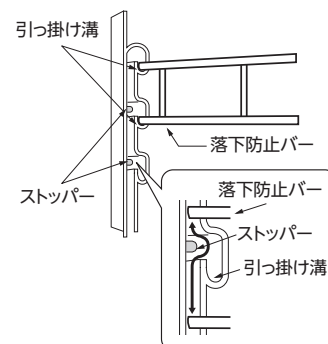
MEMO 操作感は収納物の量や間口、バネ切り替えレバーの設定により異なります。



落下防止バーの調整のしかた

収納物に合わせて、落下防止バーの位置を調節してください。

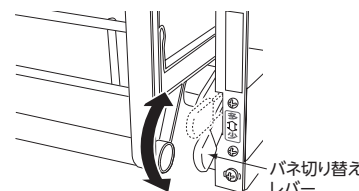
1. 落下防止バーを両手で持ち、引っ掛け溝から外して、右図のようにストッパーをよけながら上下に移動させる。
2. 位置が決まったら、落下防止バーの両端を確実に、引っ掛け溝に入れる。



バネ切り替えレバーの調整のしかた

収納物の重さに応じて、表を目安にバネ切り替えレバーを調節してください。収納物の出し入れの後には、必ず操作性を確認して、必要があれば調節してください。

- MEMO**
- ・使い始めの何も収納物が載っていないときは、バネ切り替えレバーを左右とも「少」の位置にしてから、引き下げてください。それ以外の位置では、操作が重く感じます。
 - ・収納ラックが下がっているときには、レバーは切り替えできません。収納ラックを上げて、レバーを調整してください。



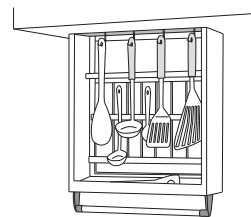
収納重量 (目安)	左レバー	右レバー
0 ～ 5 kg	少	少
5 ～ 10 kg	少	多
	多	少
10 ～ 15 kg	多	多

6. 収納アイテムの使い方-吊戸棚

6.3. プルダウン吊戸棚

プルダウン吊戸棚は、手前が通常棚板で、奥が昇降ラックになっています。

- ・ 調味料棚タイプは、調味料や香辛料を収納できます。
- ・ レードルラックタイプは上下2段にレードルが掛けられ、下部の小物トレーには菜箸などを収納できます。



使用上の注意



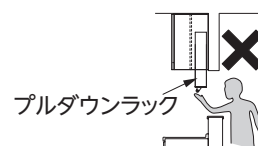
ぬれたものを収納しない。

サビの原因になります。



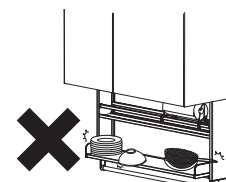
対面側からプルダウンラックを上下操作しない。

ケガや破損の原因になります。
プルダウンラックの操作は、キッチン側から行ってください。



サブカウンターからはみ出してものを置かない。

収納物が落下して破損したり、ケガをする恐れがあります。



使い方

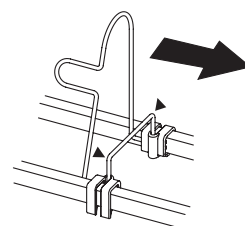
プルダウン吊戸棚の使い方

下げる場合は、操作バーの中央部を持ち、ゆっくり垂直に下げてください。上げる場合も同様にゆっくり垂直に上げてください。

注意 収納物がない状態では、操作がかなり重く、上げる際にはバネの力で急上昇するので気をつけてください。

●調味料 & サブカウンタータイプ

- ・ 上段の棚板には、調味料や香辛料とキッチンペーパーが収納できます。
- ・ キッチンペーパーを取り外すときは、右図のペーパーホルダーの2つの角を親指と人差し指で持ち、水平に引っ張ってください。取り付けるときは、外したときの逆の手順で行ってください。
- ・ 調味料棚には、昇降時の音をやわらげるために樹脂シートが敷かれています。使用時には表面に貼ってある透明のシートをはがしてください。調味料などの液垂れが付着した場合は、水洗いして水気を乾燥させてからご使用ください。
- ・ 下段のサブカウンターは、前に倒すと調理用のお皿などを一時的に置くスペースとして使用できます。



●調味料棚タイプ

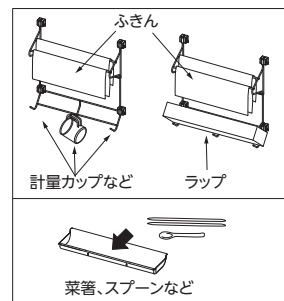
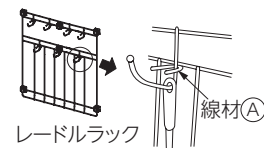
- ・ 間口 45cmタイプの上段にはキッチンペーパーが、間口 30cmタイプの上段には調味料が収納できます。
- ・ 下段には調味料や香辛料が収納できます。

6. 収納アイテムの使い方-吊戸棚

6.3. プルダウン吊戸棚

プルダウン吊戸棚の使い方（つづき）

- レードルラック & ふきんラックタイプ、レードルラックタイプ
 - ・フック部分の上についている線材④は、プルダウン吊戸棚を昇降する際に、フックからレードルが落下しないために取り付けられています。レードルは線材④の下部に掛けるようにしてください。
 - ・ふきんラックは上部にふきん、下部のフックには計量カップやピーラーなどの小物を掛けたり、ラップを収納することができます。ふきんは水を切ってから収納してください。
 - ・小物トレイには菜箸などを収納することができます。



小物トレイの脱着

収納物をすべて取り出してから行ってください。

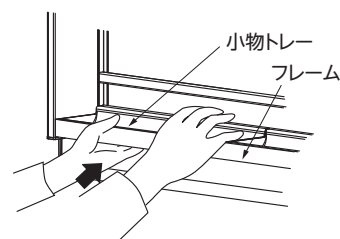
取り外し方

底から小物トレイを押し上げる。

飛び出しを防ぐために、もう片方の手を添えながら行ってください。

取り付け方

小物トレイとフレームを水平にして、上から垂直にセットする。



底から押し上げて外してください。

ラック類の脱着

取り外し方

親指のほらを使って左右のクリップを同時に押し上げる。

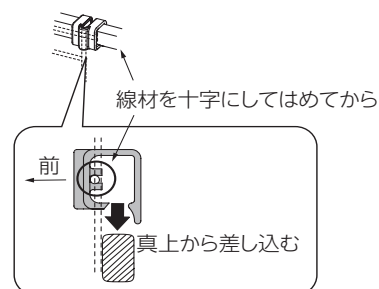
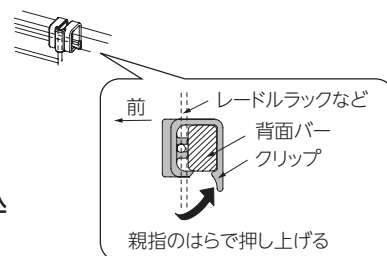
取り付け方

1. ラックの線材が十字になっている部分にクリップをはめ込む。
2. 背面バーの真上からクリップを左右同時に差し込む。

MEMO ペーパーラックは、クリップを前後逆にして取り付けがあります。

注意

使用する前に、ラック類がきちんとセットされているか確認してください。ラック類が落下してケガをする恐れがあります。



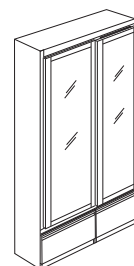
ペーパーラックは、クリップの前後を逆にして使います

お手入れのしかた

調味料棚に敷いてある樹脂シートは、水を含んだ布で洗剤を拭き取った後、自然乾燥させます。乾拭きをする場合は、ティッシュペーパーや毛脚の長いタオルなどでこすると繊維が付着する恐れがあるので、乾いた布で行ってください。その他のお手入れは P.53 を参考に行ってください。

7.1. システムエリア収納

システムエリア収納は、食器の収納等に便利な収納力の高い収納庫です。



使用上の注意



禁止

ガラス扉の裏面にはガラスクリーナーを使わない。

ガラス扉裏面は飛散防止フィルム貼りです。表面が変質・変色する恐れがあります。



必ず実行

扉を開く際は、開く反対側の扉が閉まりきった状態であることを確認し、ゆっくりと開く。

引き違い防止部品に強い衝撃を与えると、異音や破損の原因となります。

お手入れのしかた

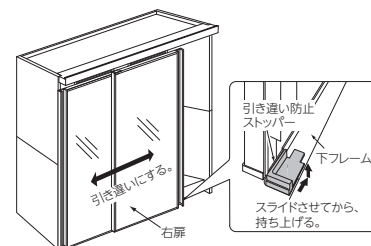
ガラス扉は強化ガラス仕様になっており、裏面は飛散防止フィルム貼りです。裏面は表面に比べ傷がつきやすいため、清掃時は気をつけてください。汚れた場合は、傷を避けるため、綿などの柔らかい布で拭いてください。

扉の裏面をお手入れする場合

1. 右扉の下フレーム右下に取り付けられている引き違い防止ストッパーを取り外す。
2. 左右の扉を引き違いにし、扉の裏面を拭く。
3. 清掃が終わったら、引き違い防止ストッパーを元の位置に取り付け直す。

注意

引き違い防止ストッパーは、指はさみを防止するために必要な部品です。お手入れした後は、必ず取り付けて使用してください。



7.2. リサイクルカート・リサイクルゴミワゴン

- リサイクルカートは、デザイン性を高めた資源ゴミ用のワゴンです。ゴミを分別しながら見た目をスッキリさせるので、オープンキッチンにもぴったりです。
- リサイクルゴミワゴンは、家電収納庫下のスペースに複数のゴミ箱が置け、資源ゴミの分別に便利です。キャスター付きなので作業中のゴミ捨ても簡単です。

● 使用上の注意



禁止

ポリ袋止めをゴミ箱の持ち手として使用しない。

ポリ袋止めが取れる恐れがあります。



必ず実行

ゴミを入れたまま長時間放置しない。臭いの気になるゴミは、新聞紙にくるんだり、ビニール袋に入れたりして、こまめに捨てる。

悪臭の原因になります。



禁止

生ゴミは収納しない。

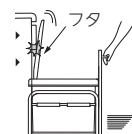
悪臭の原因になります。



必ず実行

ゴミ箱のフタが閉まっていることを確認してから、キャビネットに収納する。

フタが開いている状態で収納しようとすると、フタが破損します。



禁止

ワゴンの出し入れ時に、収納するキャビネットや隣接するキャビネットに強く当てない。

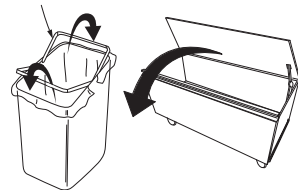
破損の原因になります。

● 使い方

リサイクルカートの使い方

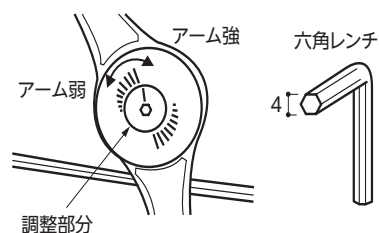
- リサイクルカートのゴミ箱には、右図のようなポリ袋止めがついています。ポリ袋を固定するのに、お使いいただけます。
- ゴミ箱をリサイクルカートから取り出し、ポリ袋止めを上へ上げている状態で、ゴミ箱の中にポリ袋を入れてください。その後、矢印の方向へ倒し、ポリ袋を固定してください。

ポリ袋止め



アームの調整のしかた（リサイクルカートの場合）

- リサイクルカートの開閉操作が重い場合、またはフタの閉まりが速い場合は、右図のような六角レンチを使ってアームの調整部分を回し、調整してください。
- 時計回りに回すとアームの強さは強くなり、反時計回りに回すと弱くなります。

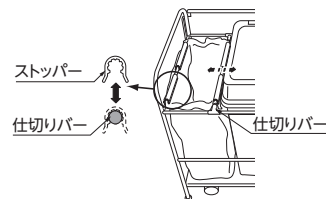


リサイクルゴミワゴンの使い方

- リサイクルゴミを収納する場合は、汚れたものや水分が付着しているものは、汚れを落として、乾燥させてから収納してください。
- 生ゴミは収納しないでください。悪臭が発生する原因になります。
- リサイクルゴミワゴンのゴミ箱には、ポリ袋止めがついています。ポリ袋を固定するのにお使いいただけます。

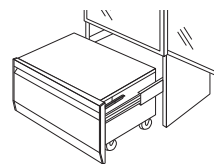
ポリ袋の止め方（リサイクルゴミワゴンの場合）

- ストッパーの脱着がしやすいように、仕切りバーを横にスライドさせてから、ストッパーを上強く引っ張って外してください。
- 右図のように、ポリ袋を広げて袋の端をはさむようにストッパーで止めてください。



7.3. ステップコンテナ

- 高い位置のものを取るときに踏み台としても活用できる収納です。
- 完全に引き出すと動かないように、自動ロックが掛かります。

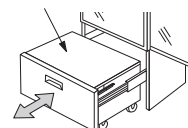


使用上の注意



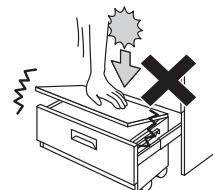
ステップコンテナを開閉する場合は、扉中央部の取っ手を持ってゆっくりと開閉する。

扉の端で開閉すると、レールへの負荷がかかり、故障や作動不良の原因となります。



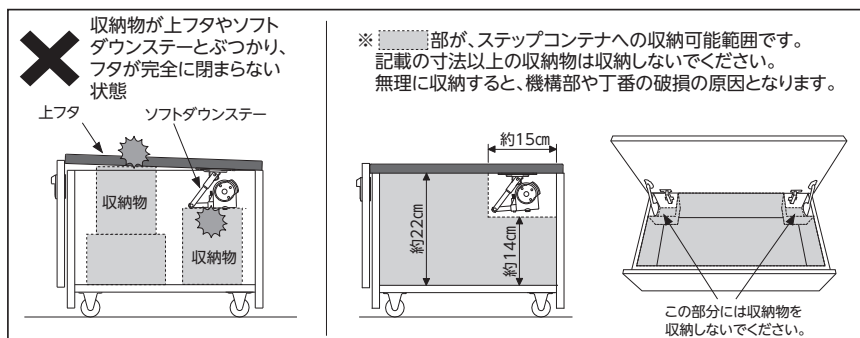
ステップコンテナのステップ部（上フタ部）を収納物がはみ出した状態で閉めたり、無理に力を入れて急に閉めたりしない。

開閉時に手や指をはさまないようにフタがゆっくり閉まる機構がついています。機構部への負荷は故障の原因になります。また、収納物がはみ出したり、機構部とぶつかったりした状態で無理に力を入れてフタを閉めると、フタや機構部の破損の原因となります。



ステップコンテナの使い方

- 台の中央部に乗って、高いところにある収納物を出し入れできます。
- 取っ手を持ってステップコンテナを引き出してください。ロック機構が動くまで完全に引き出してください。収納する場合は、ステップコンテナ左右のロックレバーを上へ上げて、ロック機構を解除してください。
- 上フタを開けるとステップコンテナの中に食器や道具類を収納できます。
- ものが奥に落ちた場合や、掃除をする際には、ステップコンテナを引き抜くことができます。
- 収納物が上フタ部やソフトダウンスターとぶつかった状態で使用すると、フタや機構部の破損の原因となります。ステップコンテナに収納物を入れる際には必ず下記内容を確認してください。

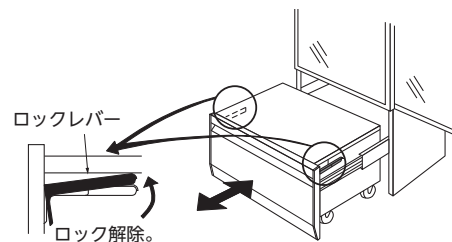


7.3. ステップコンテナ

ステップコンテナの脱着

取り外し方

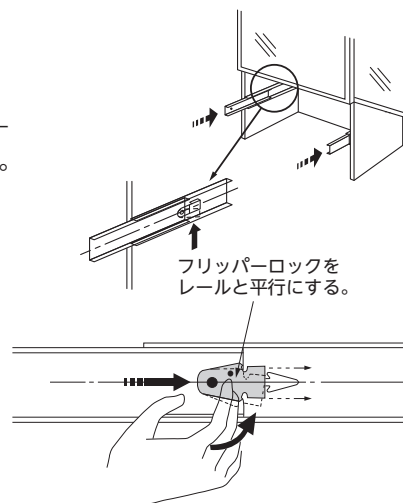
1. ステップコンテナ左右のロックレバーに手を添えて、解除位置までロックレバーを上へ上げて解除する。
2. 両手でゆっくりとまっすぐに引き抜く。



取り付け方

1. キャビネット側のレールを奥に入れる。

レールの奥側にフリップパーロックがついていますので、これをレールと平行になる位置に押さえながら、レールを奥に入れてください。



注意

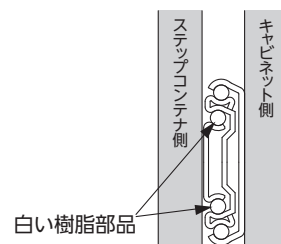
フリップパーロックをレールと平行にしないと、レールが奥に入りません。無理にレールを入れると、レールが破損する恐れがあります。

2. ステップコンテナのロックレバーに手を添えて、解除位置まで両側のレバーを上へ上げる。
3. ステップコンテナのレールと、キャビネット側のレールの白い樹脂部品にはまる様に位置を合わせて、ゆっくりとまっすぐに差し込み、約 20cm 収納後、手を離して扉を前から強く押して収納する。

斜めから差し込むと、下部のキャスターが一方方向にしか動かないため、まっすぐに差し込めません。必ずステップコンテナをまっすぐにして、差し込んでください。

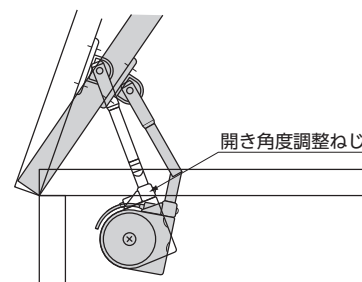
4. ステップコンテナを完全に引き出して、ロックが掛かるか確認する。

ロックがうまく掛からない場合は、もう一度引き抜いて最初からやり直してください。



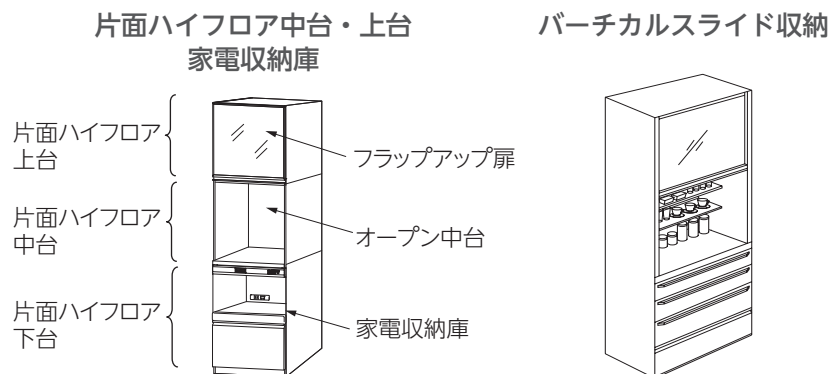
ソフトダウンスターの開き角度の調整

ステップコンテナのフタを開けたときに、スターのアーム部がまっすぐでない場合は、右図の開き角度調整ねじを⊕ドライバーで調整してください。アームが一直線に伸びた状態になるのが正しい状態です。



7.4. 片面ハイフロア下台・中台・上台

- ・家電収納庫には、電気炊飯器、電気ポットを置くことができます。
- ・片面ハイフロア中台には、電子レンジを置くことができます。
- ・片面ハイフロア上台のフラップアップ扉には、扉を全開にしなくても開けた位置で止まるフリーストップ機能がついています。
- ・バーチカルスライド収納は、キッチン小物や食料品等、雑多な小物を簡単に隠せる上下スライド式の収納庫です。



使用上の注意



禁止

ガラス扉の裏面にはガラスクリーナーを使わない。

ガラス扉裏面は飛散防止フィルム貼りです。表面が変質・変色する恐れがあります。

●家電収納庫



禁止

家電の電源コードをスライド台のレールに、はさまない。

断線、感電の原因になります。



禁止

スライド台を手前に引き出した状態で、無理な力をかけない。

破損の原因になります。

●バーチカルスライド収納



必ず実行

扉開閉の際は、カウンターの上に障害物がないことを確認し、取っ手を持ってゆっくりと開閉する。

無理に力を入れて急に閉めたりすると、機構部の破損や故障の原因となります。

●片面ハイフロア中台



必ず実行

オーブンレンジ・電子レンジの設置の際には、離隔距離を守って設置する。

レンジからの熱により、キャビネットが傷む恐れがあります。離隔距離については、ご使用の機種取扱説明書をご参照ください。



必ず実行

キャビネット内部に水滴がついた場合は、すぐに拭き取る。

キャビネットの変色やふくれなどの恐れがあります。

7.4. 片面ハイフロア下台・中台・上台

● 使い方

家電収納庫の使い方

- ・ 蒸気排出ユニットの使い方は、付属の取扱説明書をお読みください。
- ・ スライド台は、ガス炊飯器や電子レンジを置く設定になっていませんので、置かないでください。
- ・ 付属のコンセントは1口1480W以下の器具がご利用できます。
- ・ スライド台レールには、動き防止のためのストッパーがついています。スライド台を奥まで収納したときと、手前まで引き出したときに炊飯器等の家電の操作などで、スライド台を動かないようにするためのストッパーです。
- ・ ご使用になるときは、奥まできちんと収納し、または手前まできちんと引き出し、ストッパーが働いていることを確認してください。

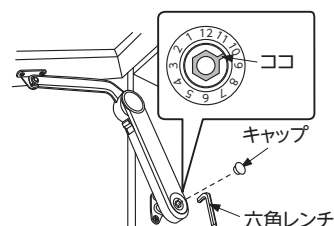


片面ハイフロア中台の使い方

- ・ 片面ハイフロア中台に電子レンジなどを置く場合は、天面・後面・両側面に器具指定の空間を設けてください。

フラップアップ扉の調整のしかた

1. 扉を閉めるときに、扉がパッキンにぶつかる“ボタン”という音がする場合や、扉が閉まり切らない場合は、ダンパーを調整する。
2. 付属の六角レンチを調整部品に差し込み、回して調整する。
 - ・ 扉が下がってしまう場合は、数字を大きい方に合わせる。
 - ・ 扉が上がってしまう場合は、数字を小さい方に合わせる。



扉サイズ(mm)	ダンパー	
	幅	高さ 初期設定
600	560	10
	660	1
750	560	2
	660	5
900	560	4
	660	10

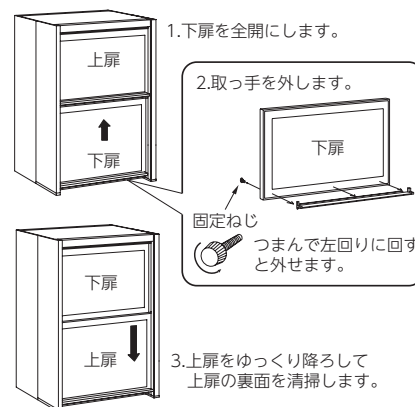
MEMO 調整後、六角レンチは取扱説明書とともに保管してください。

● お手入れのしかた

ガラス扉の裏面は飛散防止フィルム貼りです。汚れた場合は、傷を避けるため、綿などの柔らかい布で拭いてください。

バーチカルスライド収納扉のお手入れ

1. 下扉を一番上まで全開にする。
2. 下扉の取っ手を外す。
裏面から取っ手を固定しているねじを外します。
取っ手を外すと、上扉と下扉を引き違いにできます。
3. 上扉をゆっくり降ろして、扉裏面を拭く。
4. 清掃が終わった後、上扉をゆっくり上げ、下扉を元どおりにして、取っ手を取り付ける。



注意 扉の引き違い時には、指はさみに十分注意してください。

7.5. フラット引戸収納

フラット引戸収納は、キッチン背面の大型収納です。食器やカトラリー、食材を収納することができます。

キッチンの背面をより使い勝手のよい空間に仕上げます。



使用上の注意



扉の調整をするときは、調整範囲以上に扉を動かさない。

調整範囲を超えると、部品の破損や音鳴りの原因になります。



電気ドライバーは使用しない。

締めすぎると、ねじが効かなくなる場合があります。



照明の発信器に水、コーヒー、ジュースなどをかけたり、発信機を落としたりしない。

故障の原因になります。

使い方

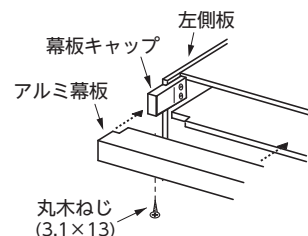
フラット引戸収納の使い方

- 扉を開閉する際には、扉の周りに人がいないことを確認し、取っ手を持ってゆっくりと開閉してください。扉にはゆっくり閉まる機構がついています。無理に力を入れて急に閉めたりすると、機構部に不具合が生じる恐れがあります。
- 片側の扉を開けた状態で、もう片一方から扉を開けることはできません。片方の扉がきちんと閉まったことを確認してから、もう片方の扉を開いてください。
- 内引出しが扉とあたる場合は、扉キャッチ機構が作動してない可能性があるため、扉を一度全開まで開けてください。扉キャッチ機構が作動し、扉が全開まで開きます。

アルミ幕板の取り付け

取り付け方

- アルミ幕板を、幕板キャップをはさみ込むように差し込む。
- アルミ幕板と幕板キャップを、付属の丸木ねじ (3.1 × 13) で、アルミ幕板の下側から固定する。



引戸扉の調整

1. 上下調整のしかた

- ①右図のねじをゆるめる。

注意 ねじは抜けない程度にゆるめてください。

- ②上レールの扉取付パイプ左右の下側にあるねじを時計回りに回すと上がり、反時計回りに回すと下がる。上下調整範囲は、± 3mm。

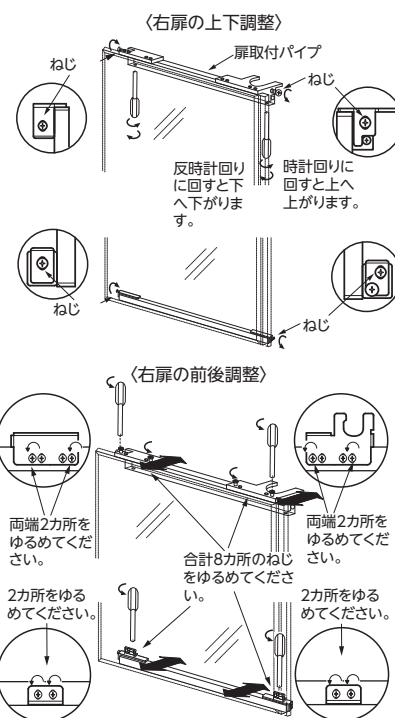
- ③上下調整後、ねじを締め付ける。

2. 前後調整のしかた

アルミ幕板が取り付けられている場合は、アルミ幕板を取り外してください。

- ①右図の8カ所のねじをゆるめる。

- ②前後調整後、ねじを締め付ける。前後調整範囲は、± 3.5mm。



7.5. フラット引戸収納

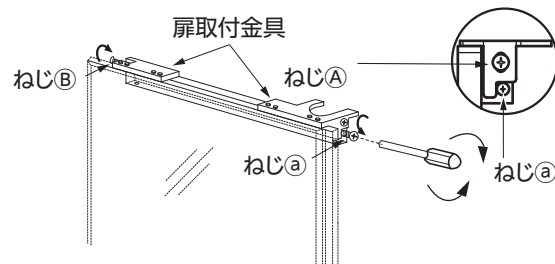
引戸扉の調整 (つづき)

3. 左右調整のしかた

●扉の上側を調整する場合

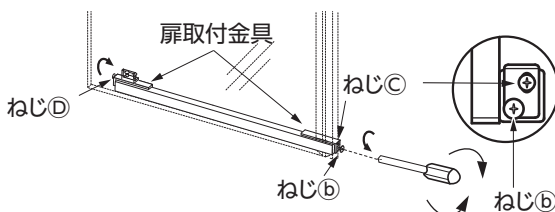
- ①右図のようにねじA、Bをゆるめる。
- ②扉上部に取り付けてある扉取付金具の外側下部のねじaを回す。時計回りに回すと扉上部は左へ動き、反時計回りに回すと右へ動く。左右調整範囲は、外側に 3.0mm、内側に 1.0mm。
- ③左右調整後、ねじA、Bを締め付ける。

〈右扉の左右調整〉



●扉の下側を調整する場合

- ①右図のようにねじC、Dをゆるめる。
- ②扉下部に取り付けてある扉取付金具の外側下部のねじbを回す。時計回りに回すと扉上部は左へ動き、反時計回りに回すと右へ動く。左右調整範囲は、外側に 3.0mm、内側に 1.0mm。
- ③左右調整後、ねじC、Dを締め付ける。



7.6. その他収納

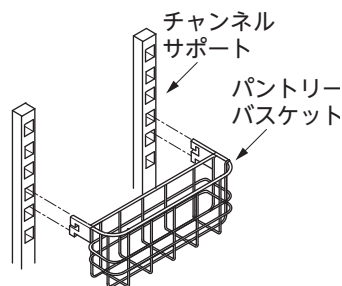
● コーナーパントリーの使い方

照明器具付の場合

- ・扉を開けると庫内の照明が点灯します。
- ・照明が点灯しない場合は、照明本体のスイッチが ON になっていることを確認してください。

パントリーバスケットの場合

パントリーバスケットは、収納物の高さに応じて取り付け高さを変えられます。パントリーバスケットの金具4カ所をチャンネルサポートに差し込んだ後、下へずらして固定してください。



● 扉開放防止部品付キャビネット (オプション) の使い方

- ・扉開放防止部品は、地震などの揺れにより、ロック機構が働き、扉が開かなくなります。使用環境、または状況など（建物の構造・階数、吊戸棚の収納状態、振動の大きさ・性質）により、性能を十分に発揮できない場合がありますので、ご注意ください。なお、収納物の破損など（損害）については補償の対象になりません。
- ・地震が終わり、揺れが止まると、自動的にロックが解除されます。ただし、収納物が扉を押した状態でロックされたままになっている場合は、収納物が破損しないように扉を奥へ静かに閉めてください。自動的にロックが解除されます。その際、収納物が落下しないように十分ご注意ください。

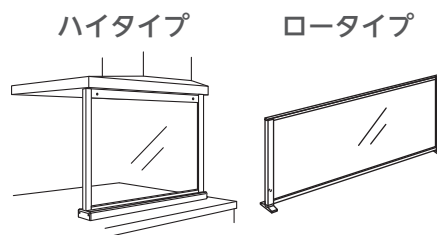
● 引出し開放防止部品付キャビネット (オプション) の使い方

- ・引出し開放防止部品は、地震などの揺れにより、ロック機構が働き、引出しが開かなくなります。使用環境、または状況など（建物の構造・階数、引出しの収納状態、振動の大きさ・性質）により、性能を十分に発揮できない場合がありますので、ご注意ください。なお、収納物の破損など（損害）については補償の対象になりません。
- ・地震が終わり、揺れが止まると、自動的にロックが解除されます。

8. 対面型キッチン・その他部材

8.1. フロントスクリーン

フロントスクリーンは、コンロから発生した油や煙がダイニング側へ流入するのを防止します。



使用上の注意



禁止

金属タワシや粒子の粗いクレンザーでこすらない。

傷がつく恐れがあります。

お手入れのしかた

汚れは、中性洗剤をスポンジまたは水を含んだ布につけて洗ってください。洗った後は、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で十分に水気を拭き取ります。

ロータイプの場合は取り外してお手入れを行うことをお勧めします。

脱着方法（ロータイプ）※

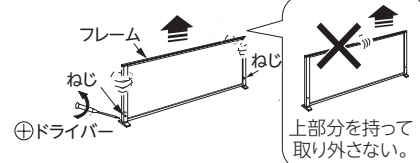
取り外し方

1. フレームの裏側にある抜け防止ねじを⊕ドライバーでゆるめる。
2. フレームの両側を上へ持ち上げる。

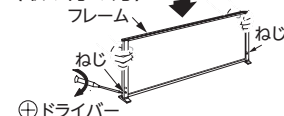
取り付け方

取り外したときの逆の手順で取り付ける。

〈取り外し方〉



〈取り付け方〉



注意

・フレームの上枠部分を持って、取り外さないでください。

・フロントスクリーンを取り付ける際は、裏側にある抜け防止ねじを⊕ドライバーでしっかりと締め付けてください。フロントスクリーンのぐらつき、破損の原因になります。

※ハイタイプは、お客様ご自身での脱着は危険ですので行わないでください。

8.2. 照明器具

● 使用上の注意



接触禁止

照明器具は、使用中、使用直後は照明の表面温度が高くなっているの
で、素手で触らない。

やけどする恐れがあります。



禁止

LED 照明を長時間直視しない。

LED 照明は輝度が高く、指向性が強いいため、目を傷める恐れがあります。



禁止

LED 照明を取り外したり、分解したりしない。

器具の破損や火災の恐れがあります。

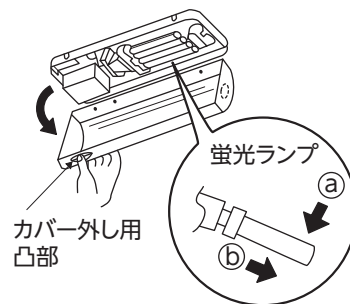
LED 照明について

- LED 照明は、約 4 万時間の点灯で、約 70% の照度になります。
- LED 照明には光りのバラツキがあるため、発光性・明るさが異なる場合があります。
- 器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用すると雑音が入る場合があります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ、テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、向きを変えてください。

蛍光ランプの交換のしかた

● コーナーパントリー用照明器具の場合

1. コーナーパントリー用照明器具の側面にあるカバー外し用凸部を親指で引っ掛け、片側を外してから反対側を外す。
2. 右図のように、①、②の順序で蛍光ランプを取り外す。



MEMO

コーナーパントリーの蛍光ランプの交換は、以下の推奨品を参考に、お取り替えください。

三菱電機 品番：FML27EX-L

● お手入れのしかた

- 明るく安全に使用していただくため、定期的（6 カ月に 1 回程度）に清掃してください。仕上げに乾いた布でもう一度器具を拭いてください。
- 汚れは、柔らかい布に薄めたせっけん水を含ませて、硬く絞ってから、拭き取ってください。その後、乾いた布でもう一度乾拭きしてください。

8.3. 壁パネル・アシストラック

● 使用上の注意



パネル部にテープ類や吸盤を取り付けない。

はがすときに、表面シートがはがれる恐れがあります。



パネルに強い衝撃をあたえない。また、硬いもの・鋭利なものを当てない。

傷などの損傷が生じる恐れがあります。



パネル部は粒子の粗いフレンザー類や金属タワシなどで、表面をこすらない。

傷がつく恐れがあります。



家庭用ワックス、漂白剤・硫酸、塩酸などの強酸、シンナー・ベンジンなどの有機溶剤を使用しない。

変色の原因や塗装がはがれる原因になる場合があります。



必ず実行

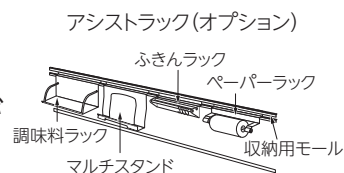
アシストラックを設置するときは、水栓が当たらない位置であることを確認する。

アシストラックや水栓の傷や破損、収納物が落下する恐れがあります。

● 使い方

アシストラック (オプション) の使い方

壁パネルに収納用モールを設置することで、日常使いの調味料や小物が手の届きやすい場所に収納できるアシストラックが取り付けられます。

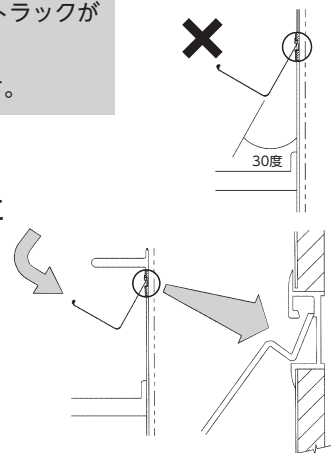


注意

- ・アシストラックは 30 度以上傾けないでください。30 度以上傾けると、アシストラックが外れやすくなり、落下する恐れがあります。
- ・ペーパーラックは、幅 28cm×直径 12cm以下のキッチンペーパーを収納できます。

取り付け方

1. アシストラックの上端の折り返しを、収納用モールの開口部に斜めから差し込む。
2. その状態で本体を下へ降ろす。



● お手入れのしかた

- ・通常のお手入れは、綿などの柔らかい布で乾拭きしてください。
- ・汚れは、薄めた中性洗剤をスポンジなどに含ませて落としてください。次に、水を含んだ布で洗剤を拭き取り、その後、乾いた布で乾拭きしてください。
- ・パネル間の目地はゴミやアカがつきやすいので、こまめに汚れを拭き取ってください。

Q. 排水の流れが悪いです。

A. 次の点をご確認ください。

- ・シンクの浅型カゴにゴミがたまっていますか？
- ・シンクの排水口周りが汚れていませんか？お手入れについては以下のページを参照してください。

参照 部品ごとのお手入れ方法 P.29

- ・排水管が汚れていませんか？集合住宅などで行う排水管洗浄については以下のページを参照してください。

参照 集合住宅などにおける集中洗浄（高圧洗浄）時の留意点 P.29

Q. 排水口がにおいます。

A. 防臭パイプが汚れていませんか？お手入れについては以下のページを参照してください。

参照 部品ごとのお手入れ方法 P.29

Q. 排水口から "ゴボゴボ" 音がします。

A. 流れる水の量が多いと、空気を巻き込んで音がすることがあります。異常ではありません。

Q. 開き扉がガタつきます。

A. 取っ手、または丁番や座を取り付けているねじがゆるんでいませんか？
ねじがゆるんでいる場合は、⊕ドライバーで締めなおしてください。

Q. 引出しがきちんと閉まりません。

A. 隣接するキャビネットの引出し前板が当たっている場合は、引出し前板を調整してください。

参照 引出し前板の調整のしかた P.48 ~ P.49

Q. 害虫（ゴキブリ）が入ってきます。

- A. ゴキブリは小さなすき間でも侵入できます。虫が好む環境（暗部、湿気、食べ物）をなるべくなくしましょう。
- ・食器などの後片付けは水滴を拭き取ってから収納する。
 - ・開封した食品は樹脂容器等に入れる。
 - ・ときどき、扉を開放して換気する。

Q. ステンレスに落ちにくい汚れ（水あかなど）がついてしまったらどうしたらいいですか？

A. お手入れについては以下のページを参照してください。

参照 ・ステンレスワークトップ、ステンレスシンクのお手入れ P.24

・美コート（セラミック系特殊コーティング）が施されているワークトップ・シンクに使用できる洗剤・洗浄具 P.26

Q. ステンレスにもらいサビしてしまったらどうしたらいいですか？

- A. ①サビた部分に小さく折りたたんだキッチンペーパーを載せて、その上からレモン汁を十分に含ませます。
- ②レモン汁が蒸発しないように、ラップフィルムをかけて放置します。軽いサビなら 1 日程度で除去できます。

保証書

◎ システムキッチン用

シリーズ・品番	S.S.			出張修理	
保証期間	取付・設置日から2年間	★取付・設置日	年	月	日
★お客様	ご住所	見本様 ()			
	お名前				
★販売店	住所 店名	TEL ()	(印) またはサイン		

無料修理規定

★印欄に記入がない場合は、商品に貼付されている検査済証に記載のロットNo.などから確認できる製造年月日により、保証期間の開始日を認定させていただきます。

本保証書は、取付・設置日から本保証書に明示した期間中故障が発生した場合には、無料修理規定の内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

保証期間中は無料修理になりますので、修理に際しては必ず本保証書をご提示ください。

2. 修理が保証期間中の無料修理に該当するかどうか、また、アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

3. ご転居の場合の修理依頼先は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

4. 保証期間内でも次の場合には、原則として有料にさせていただきます。

- (1) 使用上の故意・過失または不適切な修理や、改造による故障および損傷。
- (2) 消耗部品(照明の管球、グローランプ、パッキンなど)の取り替えや修理、ストレーナーのゴミづまりなどによる故障および損傷。
- (3) お買い上げ後の取付・設置場所の移設、輸送、落下などによる故障および損傷。
- (4) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障および損傷。
- (5) 車両、船舶などに取付・設置された場合に生じる故障および損傷。
- (6) 仕上げの傷などで、お引き渡し時に申し出がなかったもの。
- (7) 瑕疵によらない自然の損耗、サビ、カビ、変質、変色、その他類似の事由による場合。
- (8) 維持管理の不備による汚れ、サビ、給水管、排水管のつまりなどの不具合。
例えば、塩素系の洗剤、漂白剤、ヌメリ取り剤の使用によるシンク、カウンターのサビや腐食。
- (9) 第三者による管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。
例えば、ハウスクリーニング業者が指定の洗剤以外のクリーニング剤を使用してシンク、カウンター、扉などに変色や腐食が生じた場合、また、禁止されている方法で洗浄剤などを噴霧あるいは塗布したことによって機器の作動不良が生じた場合。
ならびに、浄化槽や洗浄剤から発生するガスによるシンクや金属部品の腐食。
- (10) タバコの火、商品を傷める薬品(有機溶剤、塩素系洗剤、強酸、強アルカリ性洗剤など)の使用により、発生した損傷。
- (11) 犬・猫・鳥・鼠などの小動物や虫などの害に起因する故障および損傷。
- (12) 取付・設置説明書に記載された方法以外の取付・設置、または工事内容に起因する故障および損傷。
- (13) 建築躯体の変形(強度不足、ゆがみ)など商品以外の不具合に起因する故障および損傷。
- (14) 異常電圧や指定外の燃料・電源(電圧・周波数)の使用および異常水質による故障および損傷。
- (15) 契約時、実用化されていた技術では予防することが不可能な現象またはこれが原因で生じた事故による場合。
- (16) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障および損傷。
- (17) 取付・設置完了後、引き渡し日までの間の管理などの不備による故障および損傷。
- (18) 保証期間経過後に申し出があった、もしくは、保証該当事項の発生後、速やかに申し出がなかった故障および損傷。
- (19) 本保証書のご提示がない場合。
- (20) 本保証書に取付・設置年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合(領収書などで左記内容がわかる場合はその限りではありません)、あるいは字句を書き換えられた場合。
- (21) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費。

5. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

6. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報は、保証期間内の無料修理対応およびその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※本保証書は、明示した期間、条件の基において無料修理をお約束するものです。

したがって、本保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、下記クリナップカスタマーセンターまたはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※修理記録(年月日、修理内容、修理者名など)については、修理の際に修理伝票をお渡しいたしますので、大切に保管してください。

ご相談窓口： クリナップカスタマーセンター TEL 0120-126-174

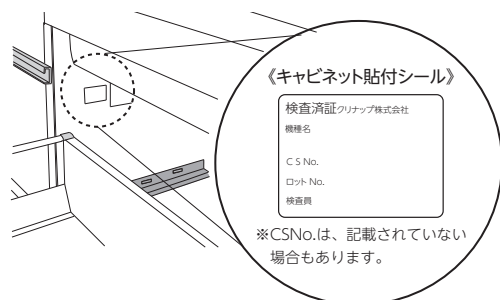
クリナップ株式会社

東京都荒川区西日暮里6-22-22 〒116-8587 TEL 03(3894)4771

修理の依頼について

この取扱説明書をよくお読みの上、再度点検して異常のあるときは、工事店・販売店、または裏表紙のクリナップカスタマーセンターまでご依頼ください。

またご連絡いただく際は、シンクキャビネット内に貼付してある検査済証の機種名・CSNo.・ロットNo. もあわせてお知らせください。



《お客様メモ》アフターサービスのご連絡に便利です。

ご購入年月日	年	月	日
ご購入店名			
	☎		

廃棄処分のしかた

この商品を廃棄処分する場合は、必ず公的な許可を受けている処理業者にご依頼ください。

ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

アフターサービスのご用命

ご使用にあたってご不明な点や、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または下記クリナップカスタマーセンターまでお問い合わせください。

●アフターサービスのご用命

☎0120-126-174

クリナップカスタマーセンター

ご依頼の際は、以下の内容をお知らせください。

- 検査済証の機種名・CSNo.・ロットNo. ●症状
- ご購入年月日 ●お名前・ご住所・お電話番号

通話料
無料

受付時間:

9:00～18:00

*ただし、1月1日(元日)はお休みさせていただきます。

*諸般の事情により営業時間が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

お電話は、内容の確認と商品機能やサービスの質の向上などを目的として、記録・録音させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。なお、個人情報保護方針は<http://cleanup.jp/>に公表しております。

レンジフードフィルターなどの
訪問販売に関するご注意

クリナップの名前をかたって、レンジフードの交換用フィルターなどを訪問販売したり、電話で注文を取ろうとする業者がありますが、当社とは一切関係ございませんので十分ご注意ください。

S.S. 取扱説明書
W102746000

クリナップ株式会社

東京都荒川区西日暮里 6-22-22 〒116-8587 TEL03(3894)4771
1512A-72-01